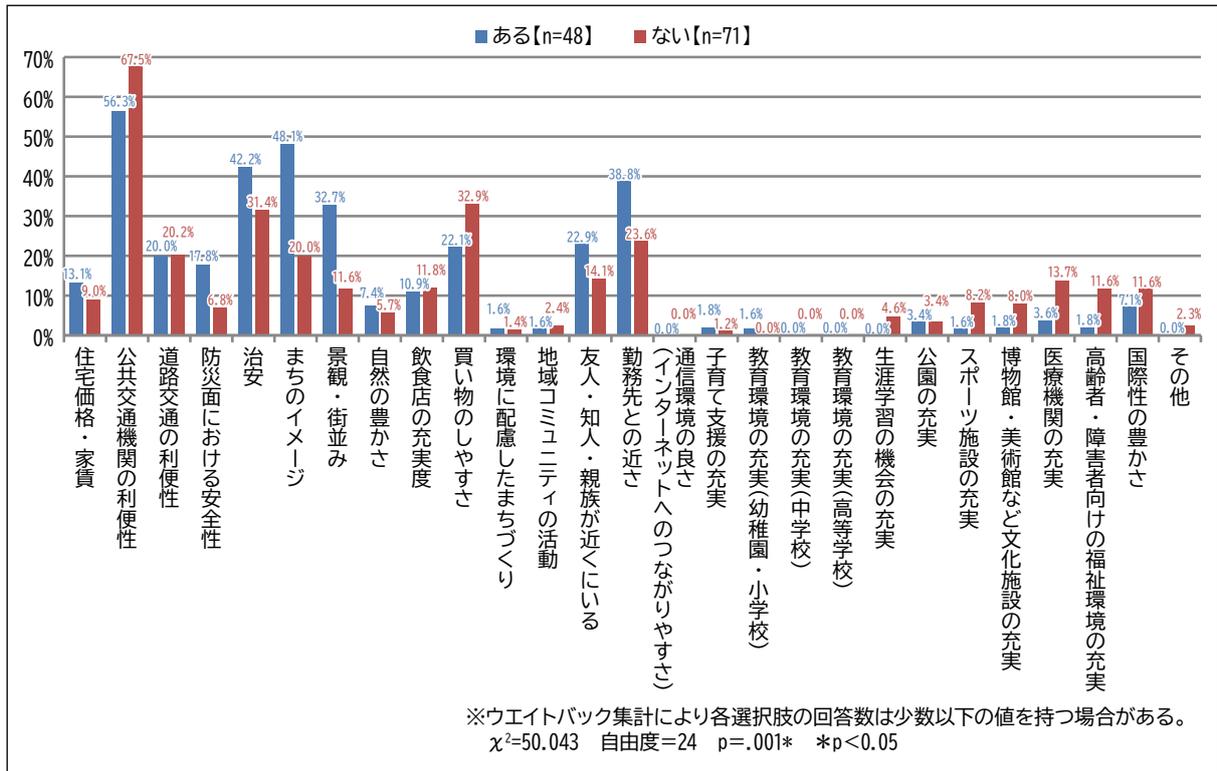


図表2-34-2-5 未婚者の結婚希望別転出を希望しない理由



35 新型コロナウイルスで重要度が上がったもの(問23)

問23 新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や人との接触を避ける新しい生活様式が提唱されています。

こうした状況を踏まえて新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比較して住む場所を選ぶときに重要度が上がったものと下がったものをお答えください。

重要度が上がったもの(複数回答)

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 15 通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ) |
| 2 公共交通機関の利便性 | 16 子育て支援の充実 |
| 3 道路交通の利便性 | 17 教育環境の充実(幼稚園・小学校) |
| 4 防災面における安全性 | 18 教育環境の充実(中学校) |
| 5 治安 | 19 教育環境の充実(高等学校) |
| 6 まちのイメージ | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 7 景観・街並み | 21 公園の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 22 スポーツ施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10 買い物のしやすさ | 24 医療機関の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12 地域コミュニティの活動 | 26 国際性の豊かさ |
| 13 友人・知人・親族が近くにいる | 27 その他 |
| 14 勤務先との近さ | 28 該当するものはない |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「買い物のしやすさ」、「治安」、「医療機関の充実」、「通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ）」、「公共交通機関の利便性」が上位5位に入っている割合が高い。

特に港区では「買い物のしやすさ」の重要度が高くなっている。

■調査結果

港区は、「買い物のしやすさ」が31.5%で最も多く、次いで「該当するものはない」(30.5%)、「治安」(21.9%)などが多くなっている。

図表2-35-1-1 新型コロナウイルスで重要度が上がったもの

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	買い物のしやすさ 31.5%	該当するものはない 35.0%	買い物のしやすさ 39.2%	該当するものはない 34.7%	買い物のしやすさ 35.0%	該当するものはない 36.4%	該当するものはない 32.8%
第2位	該当するものはない 30.5%	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） 22.8%	治安 29.8%	買い物のしやすさ 33.3%	該当するものはない 31.0%	買い物のしやすさ 31.8%	買い物のしやすさ 31.6%
第3位	治安 21.9%	治安 19.8%	該当するものはない 29.2%	公共交通機関の利便性 19.7%	治安 18.7%	治安 20.0%	治安 21.3%
第4位	医療機関の充実 21.2%	公共交通機関の利便性 18.7%	公共交通機関の利便性 21.6%	治安 17.7%	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） 18.7%	公共交通機関の利便性 18.6%	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） 19.5%
第5位	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） 20.4%	買い物のしやすさ 18.5%	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） 21.3%	医療機関の充実 17.7%	医療機関の充実 17.7%	医療機関の充実 18.2%	公共交通機関の利便性 19.1%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

港区

ア 年齢別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの

年齢が高いほど「医療機関の充実」、「買い物のしやすさ」、「通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ）」の回答割合が高くなる傾向がある。

■調査結果

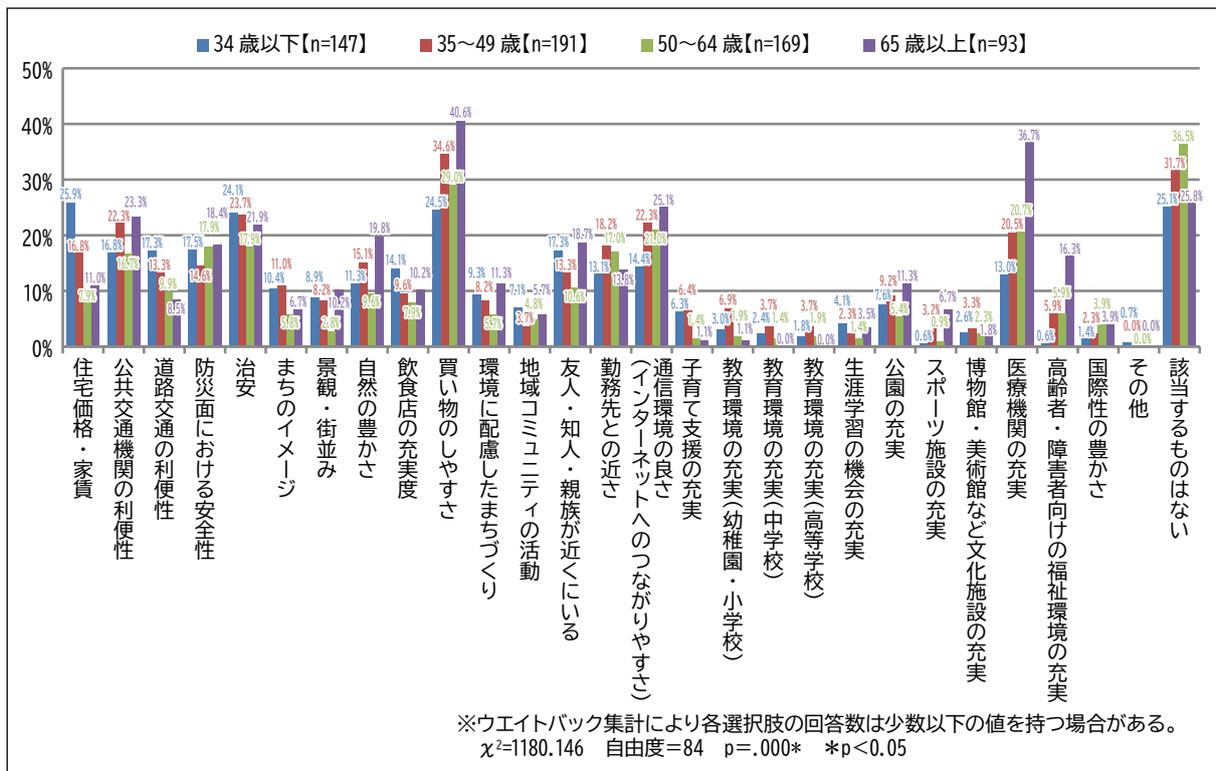
「34歳以下」は、「住宅価格・家賃」が25.9%で最も多く、次いで「該当するものはない」(25.1%)、「買い物のしやすさ」(24.5%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「買い物のしやすさ」が34.6%で最も多く、次いで「該当するものはない」(31.7%)、「治安」(23.7%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「該当するものはない」が36.5%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」(29.0%)、「通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)」(21.0%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「買い物のしやすさ」が40.6%で最も多く、次いで「医療機関の充実」(36.7%)、「該当するものはない」(25.8%)などが多くなっている。

図表2-35-2-1 年齢別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの



イ 居住期間別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの

港区

「2年未満」で「買い物のしやすさ」、「住宅価格・家賃」の回答割合が高い。また、居住期間が長くなるほど、「該当するものはない」の回答割合が高くなる傾向がある。

■調査結果

「2年未満」は、「買い物のしやすさ」が40.5%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃」(29.7%)、「治安」(26.5%)などが多くなっている。

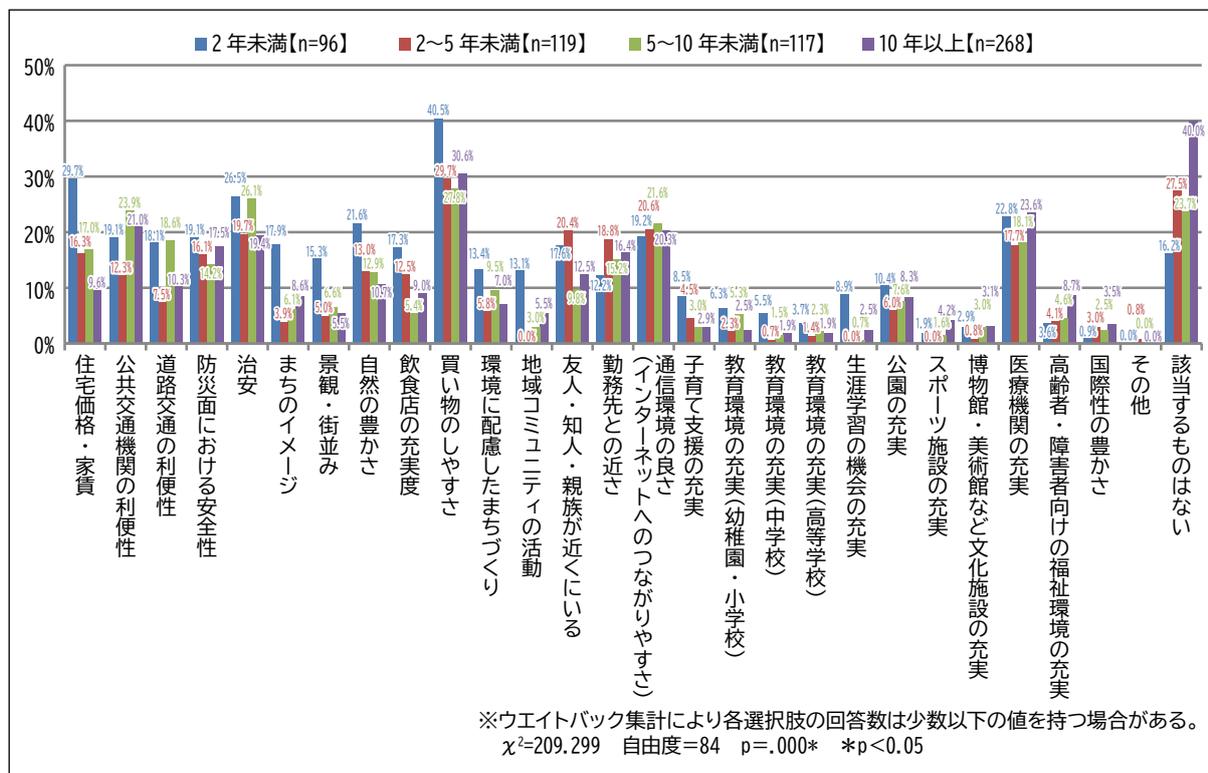
「2～5年未満」は、「買い物のしやすさ」が29.7%で最も多く、次いで「該当するものはない」(27.5%)、「通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)」(20.6%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「買い物のしやすさ」が27.8%で最も多く、次いで「治安」(26.1%)、「公共交

通機関の利便性」(23.9%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「該当するものはない」が40.0%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」(30.6%)、「医療機関の充実」(23.6%)などが多くなっている。

図表2-35-2-2 居住期間別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの



ウ 子どもの年齢別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの

港区

「子ども13~15歳」、「子ども16~18歳」で「住宅価格・家賃」の回答割合が、「子ども13~15歳」で「買い物のしやすさ」の回答割合が他の属性と比較して顕著に低くなっている。

■調査結果

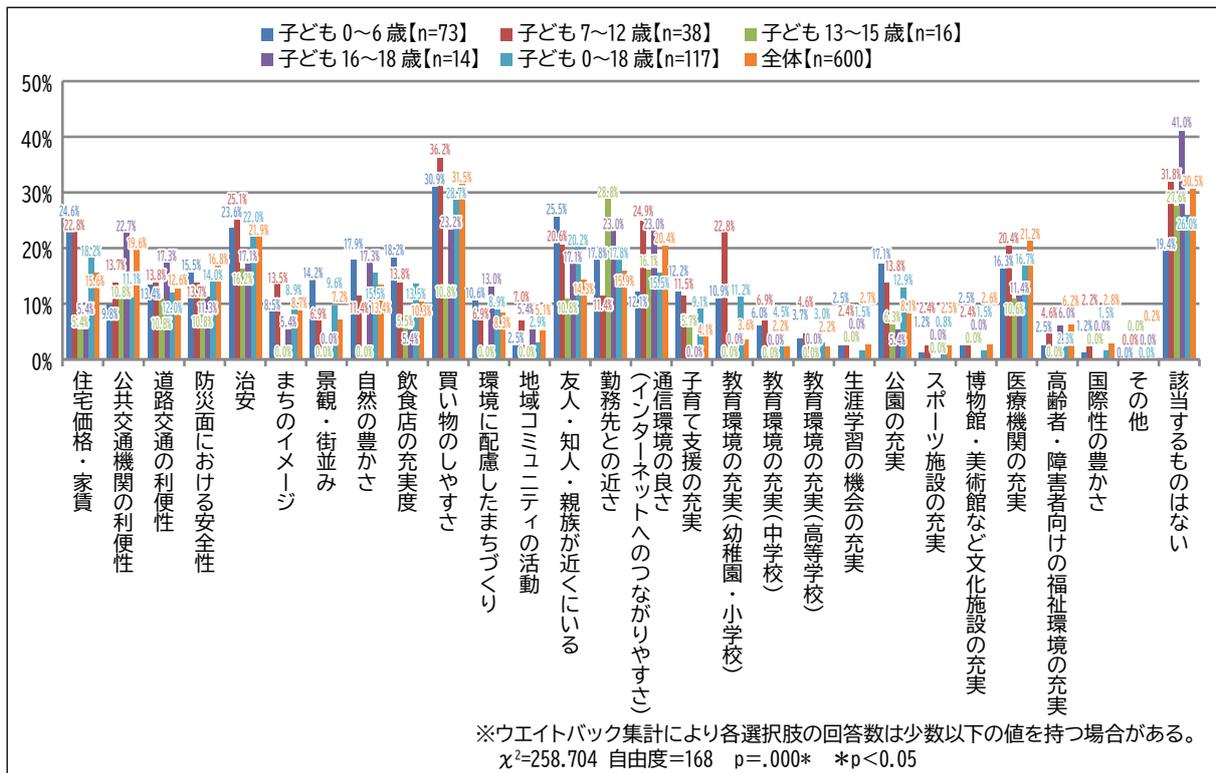
「子ども0~6歳」は、「買い物のしやすさ」が30.9%で最も多く、次いで「友人・知人・親族が近くにいる」(25.5%)、「住宅価格・家賃」(24.6%)などが多くなっている。

「子ども7~12歳」は、「買い物のしやすさ」が36.2%で最も多く、次いで「該当するものはない」(31.8%)、「治安」(25.1%)などが多くなっている。

「子ども13~15歳」は、「勤務先との近さ」が28.8%で最も多く、次いで「該当するものはない」(27.6%)、「治安」(16.2%)などが多くなっている。

「子ども16~18歳」は、「該当するものはない」が41.0%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」(23.2%)、「勤務先との近さ」(23.0%)などが多くなっている。

図表2-35-2-3 子どもの年齢別新型コロナウイルスで重要度が上がったもの



36 新型コロナウイルスで重要度が下がったもの（問24）

問24 新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や人との接触を避ける新しい生活様式が提唱されています。

こうした状況を踏まえて新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比較して住む場所を選ぶときに重要度が上がったものと下がったものをお答えください。

重要度が下がったもの（複数回答）

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 15 通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） |
| 2 公共交通機関の利便性 | 16 子育て支援の充実 |
| 3 道路交通の利便性 | 17 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 4 防災面における安全性 | 18 教育環境の充実（中学校） |
| 5 治安 | 19 教育環境の充実（高等学校） |
| 6 まちのイメージ | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 7 景観・街並み | 21 公園の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 22 スポーツ施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10 買い物のしやすさ | 24 医療機関の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12 地域コミュニティの活動 | 26 国際性の豊かさ |
| 13 友人・知人・親族が近くにいる | 27 その他 |
| 14 勤務先との近さ | |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「該当するものはない」が1位になっている。2位以降では「飲食店の充実度」、「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」が高い。

■調査結果

港区は、「該当するものはない」が54.1%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(10.3%)、「勤務先との近さ」(9.7%)などが多くなっている。

図表2-36-1-1 新型コロナウイルスで重要度が下がったもの

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	該当するもの はない 54.1%	該当するもの はない 50.7%	該当するもの はない 56.0%	該当するもの はない 63.0%	該当するもの はない 63.3%	該当するもの はない 61.2%	該当するもの はない 58.1%
第2位	飲食店の充実 度 10.3%	公共交通機関 の利便性 9.9%	勤務先との近 さ 10.6%	勤務先との近 さ 9.3%	公共交通機関 の利便性 7.7%	勤務先との近 さ 10.7%	勤務先との近 さ 8.5%
第3位	勤務先との近 さ 9.7%	飲食店の充実 度 8.1%	公共交通機関 の利便性 9.7%	飲食店の充実 度 7.0%	飲食店の充実 度 6.3%	公共交通機関 の利便性 8.0%	公共交通機関 の利便性 8.1%
第4位	国際性の豊か さ 7.5%	勤務先との近 さ 6.2%	飲食店の充実 度 7.4%	公共交通機関 の利便性 6.3%	国際性の豊か さ 5.3%	飲食店の充実 度 8.0%	飲食店の充実 度 7.9%
第5位	公共交通機関 の利便性 7.2%	買い物のしや すさ 6.1%	住宅価格・家 賃 7.0%	住宅価格・家 賃 5.0%	勤務先との近 さ 4.7%	国際性の豊か さ 5.5%	国際性の豊か さ 5.5%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの

港区

「34歳以下」は、相対的に「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」の回答割合が高い。また、「65歳以上」は、相対的に「国際性の豊かさ」の回答割合が高い。

■調査結果

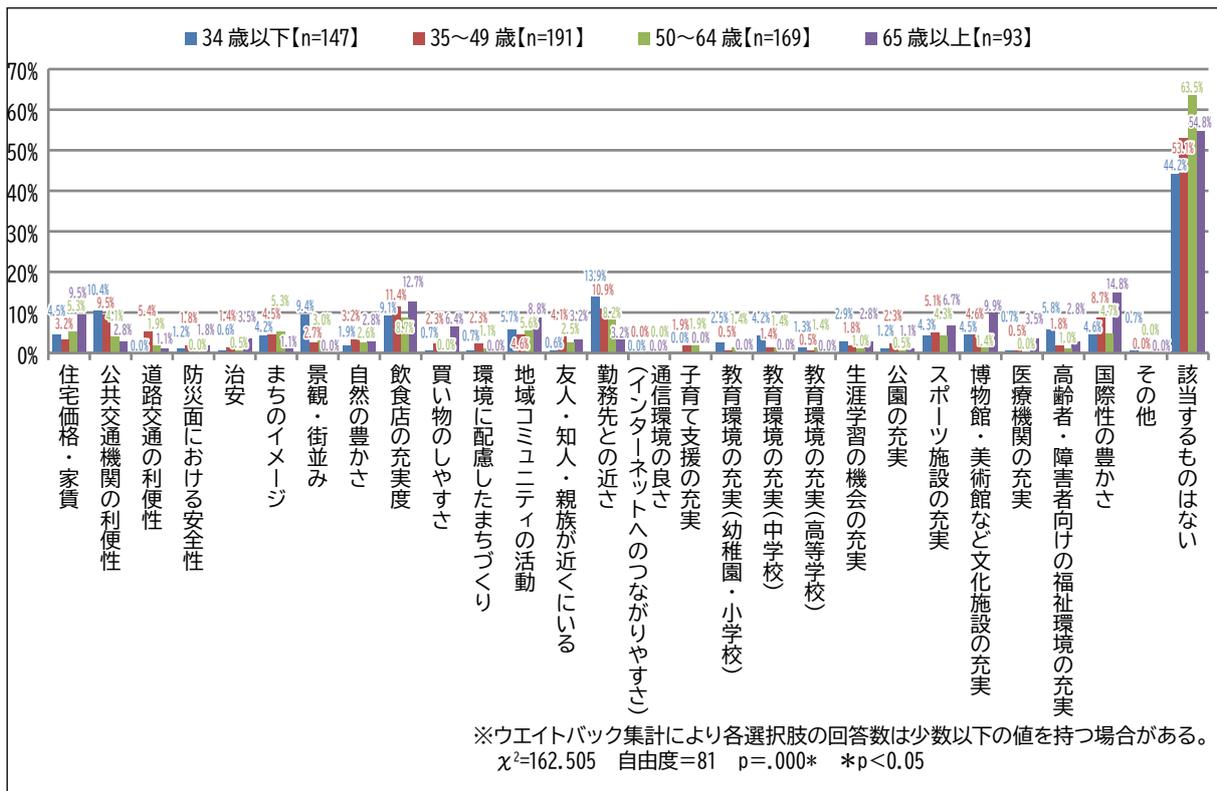
「34歳以下」は、「該当するものはない」が44.2%で最も多く、次いで「勤務先との近さ」(13.9%)、「公共交通機関の利便性」(10.4%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「該当するものはない」が53.1%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(11.4%)、「勤務先との近さ」(10.9%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「該当するものはない」が63.5%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(8.7%)、「勤務先との近さ」(8.2%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「該当するものはない」が54.8%で最も多く、次いで「国際性の豊かさ」(14.8%)、「飲食店の充実度」(12.7%)などが多くなっている。

図表2-36-2-1 年齢別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの



イ 職業別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの

港区

「会社員・団体職員・公務員」は、「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」の回答割合が高い。

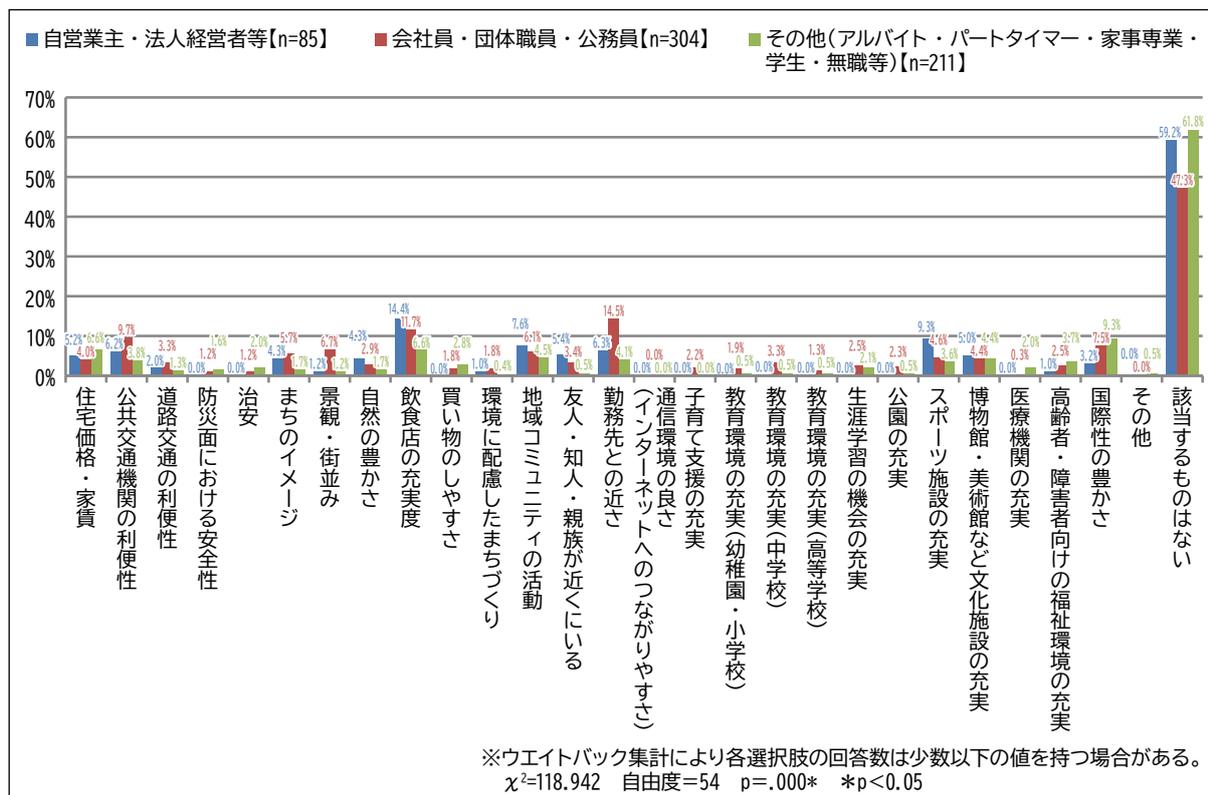
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「該当するものはない」が59.2%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(14.4%)、「スポーツ施設の充実」(9.3%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「該当するものはない」が47.3%で最も多く、次いで「勤務先との近さ」(14.5%)、「飲食店の充実度」(11.7%)、「公共交通～」などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「該当するものはない」が61.8%で最も多く、次いで「国際性の豊かさ」(9.3%)、「住宅価格・家賃」(6.6%)などが多くなっている。

図表2-36-2-2 職業別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの



ウ 居住期間別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの

港区

「2年未満」で「勤務先との近さ」の回答率が高い。

■調査結果

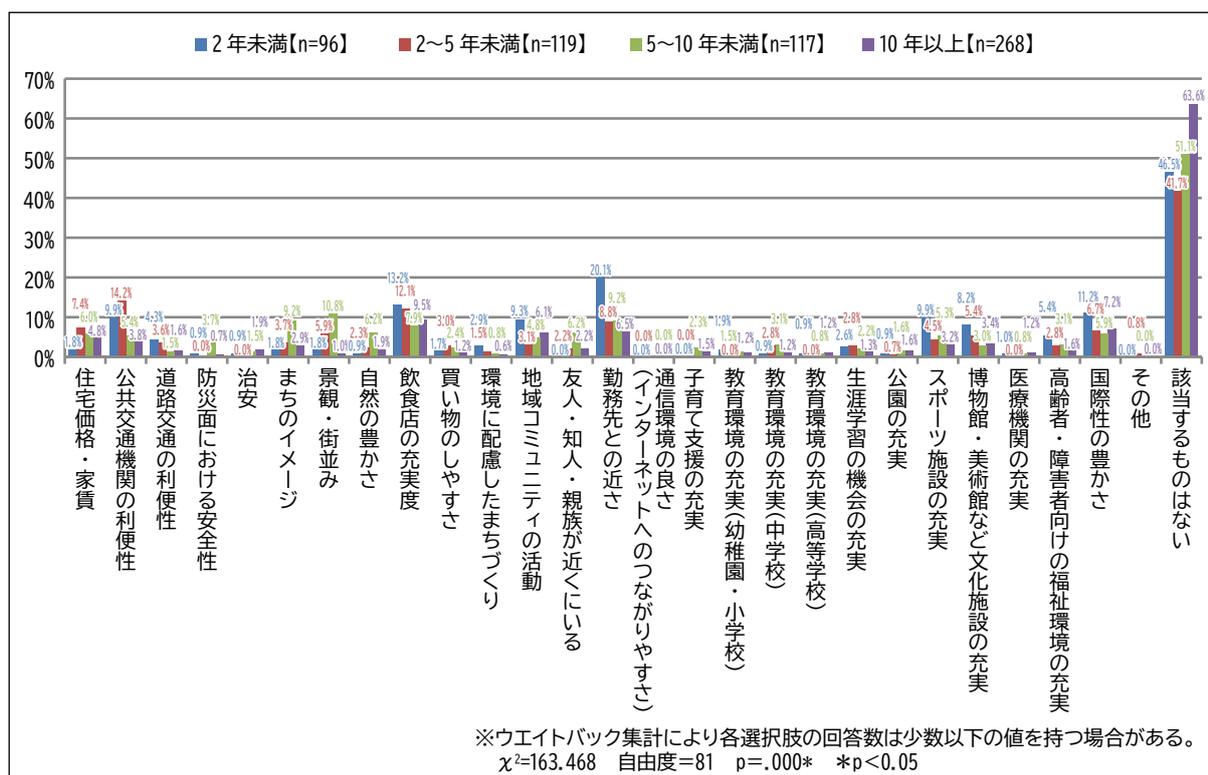
「2年未満」は、「該当するものはない」が46.5%で最も多く、次いで「勤務先との近さ」(20.1%)、「飲食店の充実度」(13.2%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「該当するものはない」が41.7%で最も多く、次いで「公共交通機関の利便性」(14.2%)、「飲食店の充実度」(12.1%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「該当するものはない」が51.1%で最も多く、次いで「景観・街並み」(10.8%)、「まちのイメージ」(9.2%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「該当するものはない」が63.6%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(9.5%)、「国際性の豊かさ」(7.2%)などが多くなっている。

図表2-36-2-3 居住期間別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの



エ 子どもの年齢別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの

港区

「子ども0～6歳」で「公共交通機関の利便性」が、「子ども7～12歳」で「国際性の豊かさ」、「勤務先との近さ」の回答割合がそれぞれやや高くなっている。

■ 調査結果

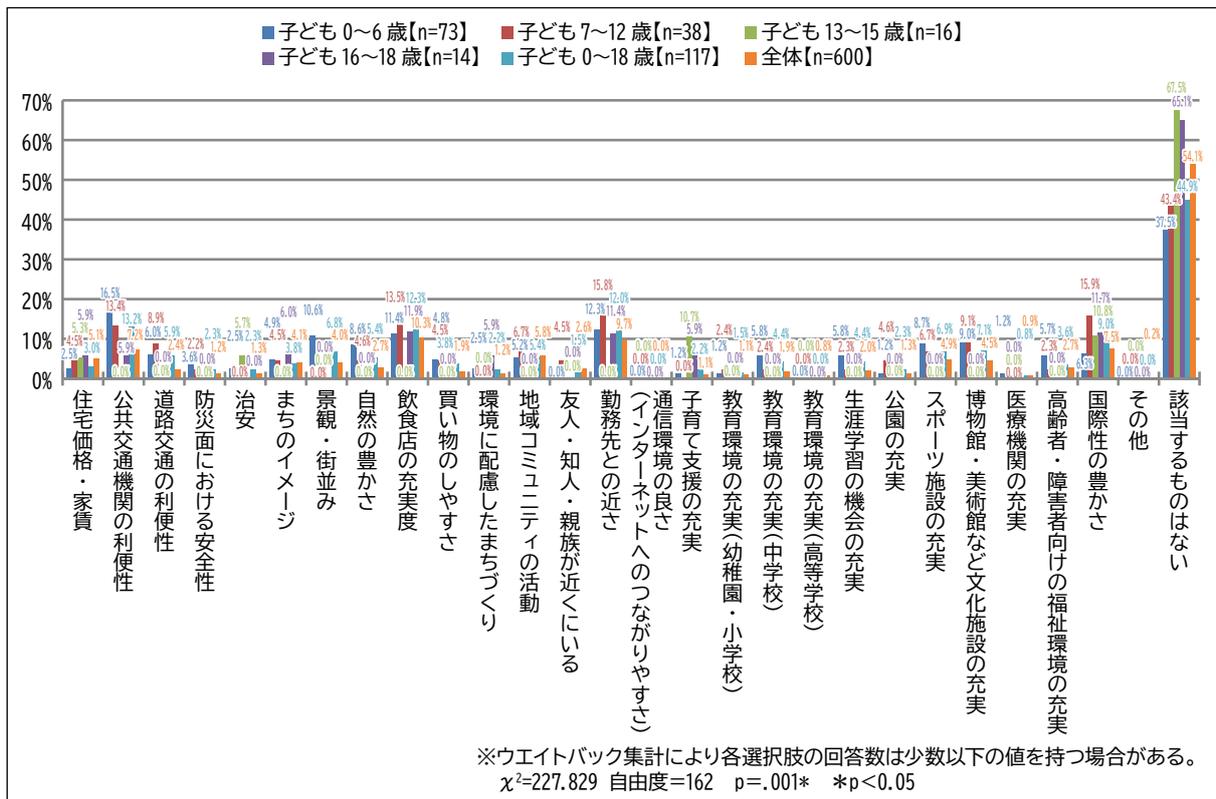
「子ども0～6歳」は、「該当するものはない」が37.5%で最も多く、次いで「公共交通機関の利便性」(16.5%)、「勤務先との近さ」(12.3%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「該当するものはない」が43.4%で最も多く、次いで「国際性の豊かさ」(15.9%)、「勤務先との近さ」(15.8%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「該当するものはない」が67.5%で最も多く、次いで「国際性の豊かさ」(10.8%)、「子育て支援の充実」(10.7%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「該当するものはない」が65.1%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(11.9%)、「国際性の豊かさ」(11.7%)などが多くなっている。

図表2-36-2-4 子どもの年齢別新型コロナウイルスで重要度が下がったもの



37 新型コロナウイルスによる今後の生活の変化（問25）

問25 新型コロナウイルス感染症流行の経験を経た今後のご自身の生活の変化で予想されるものをお答えください。（複数回答）

- 1 都心部から離れた住宅への引越し
- 2 親や親せきの住まいと近距離の住宅への引越し
- 3 日用品の買い物に便利な住宅への引越し
- 4 自宅への仕事部屋の設置
- 5 公共交通機関利用機会の減少
- 6 在宅勤務の増加
- 7 サテライトオフィス（勤務先以外のオフィススペース）利用の増加
- 8 時間に縛られない勤務
- 9 勤務先のペーパーレス化
- 10 自炊の増加
- 11 海外旅行を控える
- 12 国内旅行を控える
- 13 わからない
- 14 その他

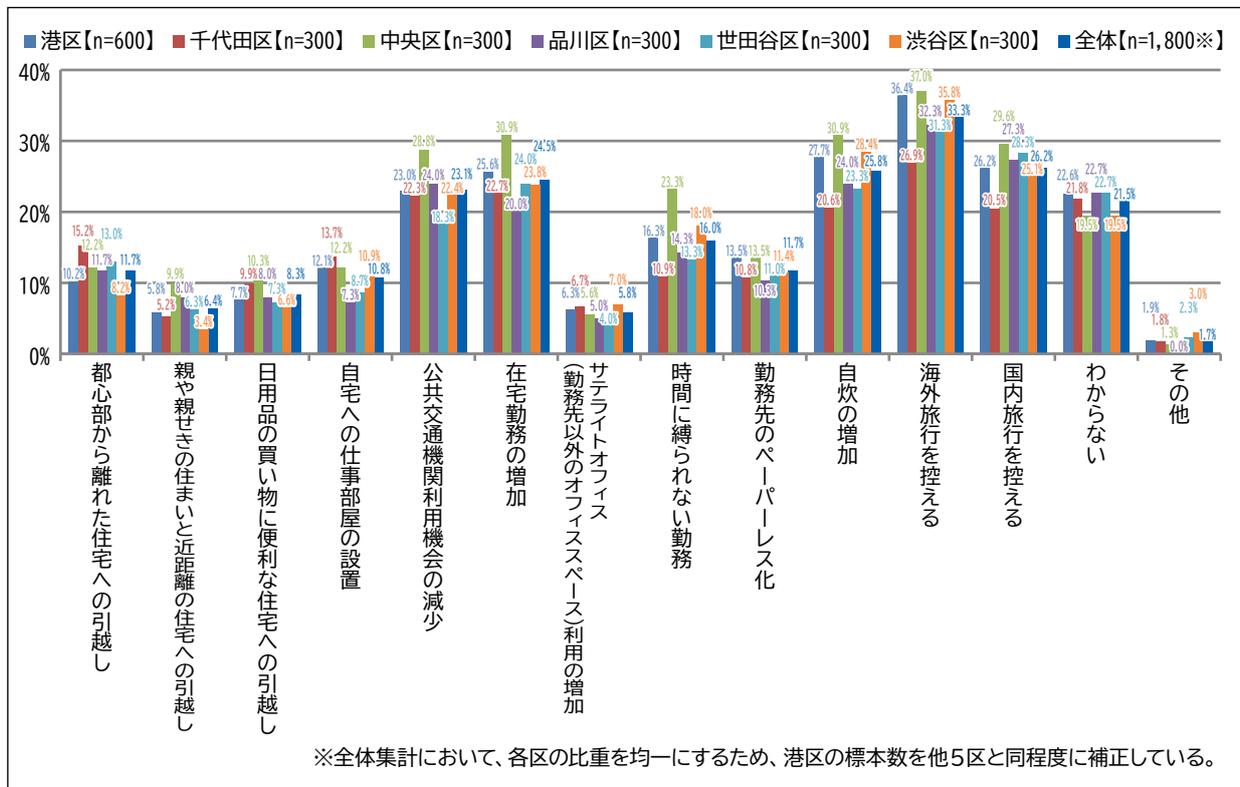
(1) 基本集計結果

いずれの区でも、海外・国内の旅行を控えるや、テレワーク等を意識した「公共交通機関利用機会の減少」、「在宅勤務の増加」などが多くなっている。港区では「海外旅行を控える」が36.4%で最も高い。

■調査結果

港区は、「海外旅行を控える」が36.4%で最も多く、次いで「自炊の増加」(27.7%)、「国内旅行を控える」(26.2%)などが多くなっている。

図表2-37-1-1 新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



(2) クロス集計結果

ア 年齢別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化

港区

年齢が高いほど「海外旅行を控える」、「国内旅行を控える」の回答割合が高くなる。また、年齢が低いほど「在宅勤務の増加」、「自炊の増加」、「日用品の買い物に便利な住宅への引越し」等の回答割合が高くなる。

■調査結果

「34歳以下」は、「在宅勤務の増加」が35.7%で最も多く、次いで「自炊の増加」(33.6%)、「海外旅行を控える」(31.6%)などが多くなっている。

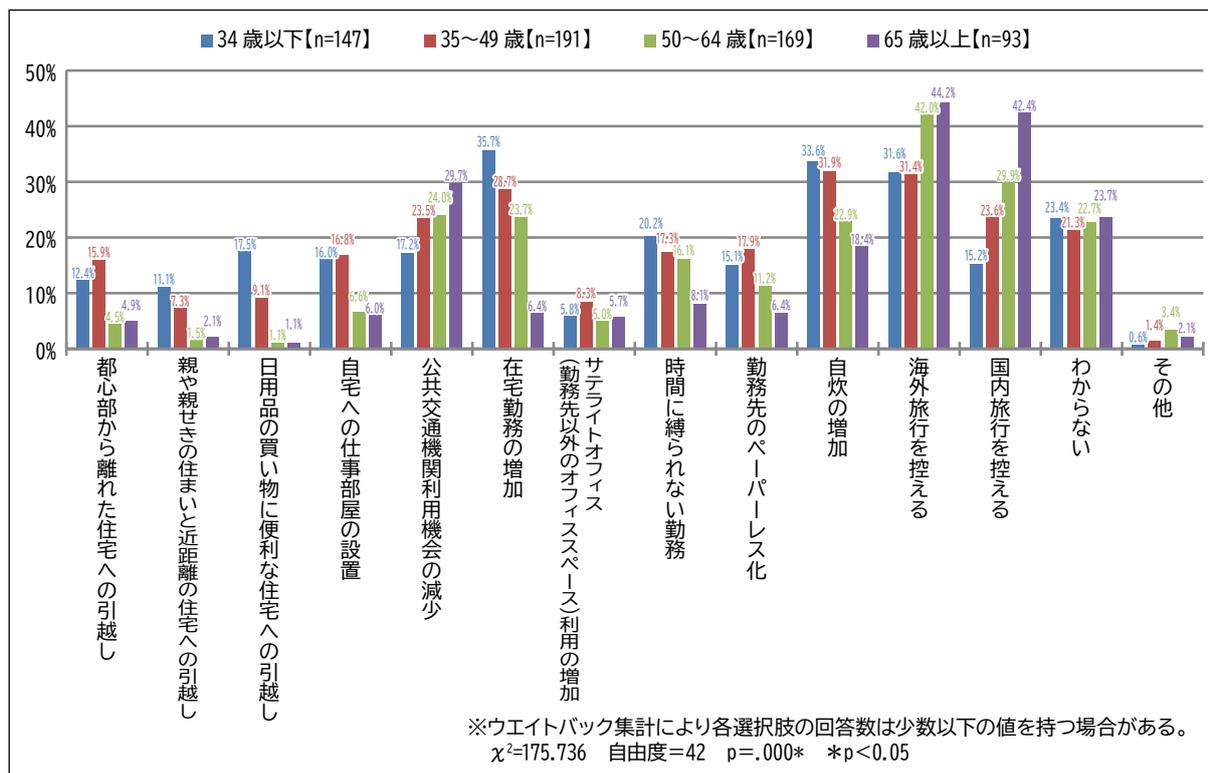
「35～49歳」は、「自炊の増加」が31.9%で最も多く、次いで「海外旅行を控える」(31.4%)、「在宅

勤務の増加」(28.7%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「海外旅行を控える」が42.0%で最も多く、次いで「国内旅行を控える」(29.9%)、「公共交通機関利用機会の減少」(24.0%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「海外旅行を控える」が44.2%で最も多く、次いで「国内旅行を控える」(42.4%)、「公共交通機関利用機会の減少」(29.7%)などが多くなっている。

図表2-37-2-1 年齢別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



イ 職業別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化

港区

「会社員・団体職員・公務員」は、相対的に「在宅勤務の増加」の回答割合が高く、「海外旅行を控える」、「国内旅行を控える」の回答割合が低い。

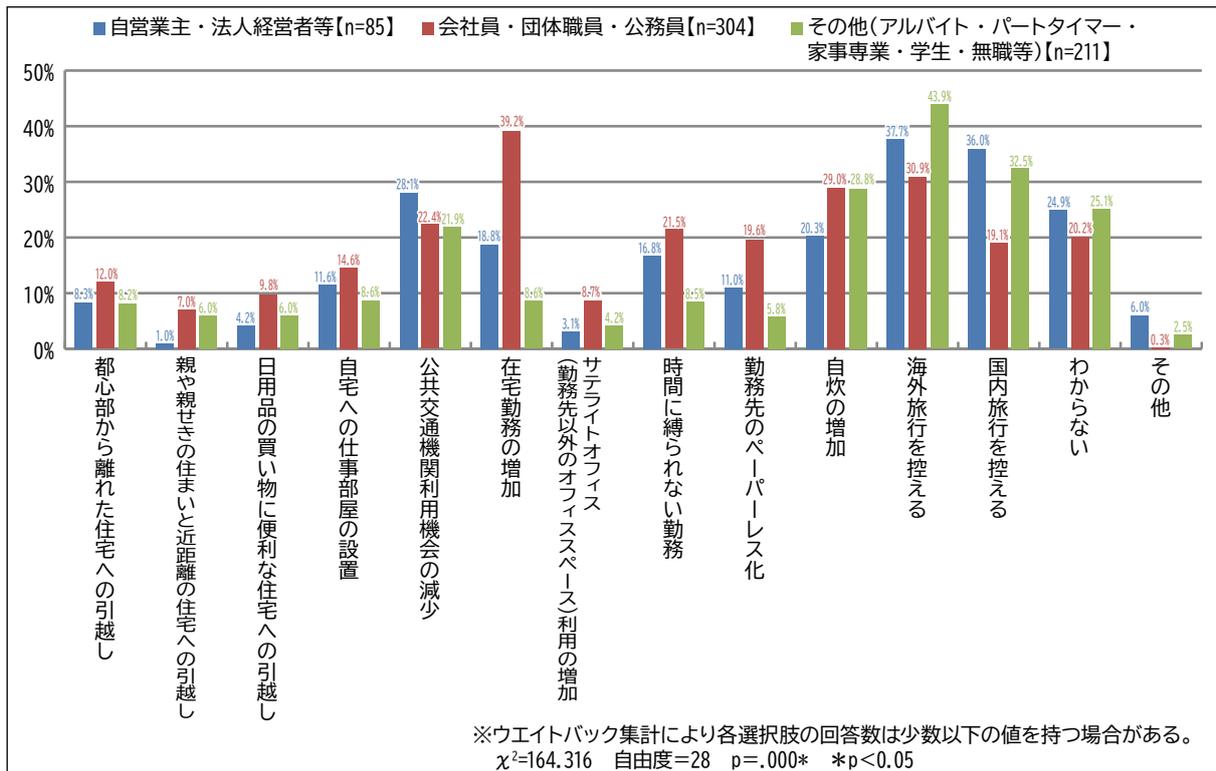
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「海外旅行を控える」が37.7%で最も多く、次いで「国内旅行を控える」(36.0%)、「公共交通機関利用機会の減少」(28.1%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「在宅勤務の増加」が39.2%で最も多く、次いで「海外旅行を控える」(30.9%)、「自炊の増加」(29.0%)などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「海外旅行を控える」が43.9%で最も多く、次いで「国内旅行を控える」(32.5%)、「自炊の増加」(28.8%)などが多くなっている。

図表2-37-2-2 職業別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



ウ 居住期間別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化

港区

居住期間が短いほど、「在宅勤務の増加」、「自炊の増加」、「自宅への仕事部屋の設置」、「公共交通機関利用機会の減少」の回答割合が高くなる傾向がある。

■調査結果

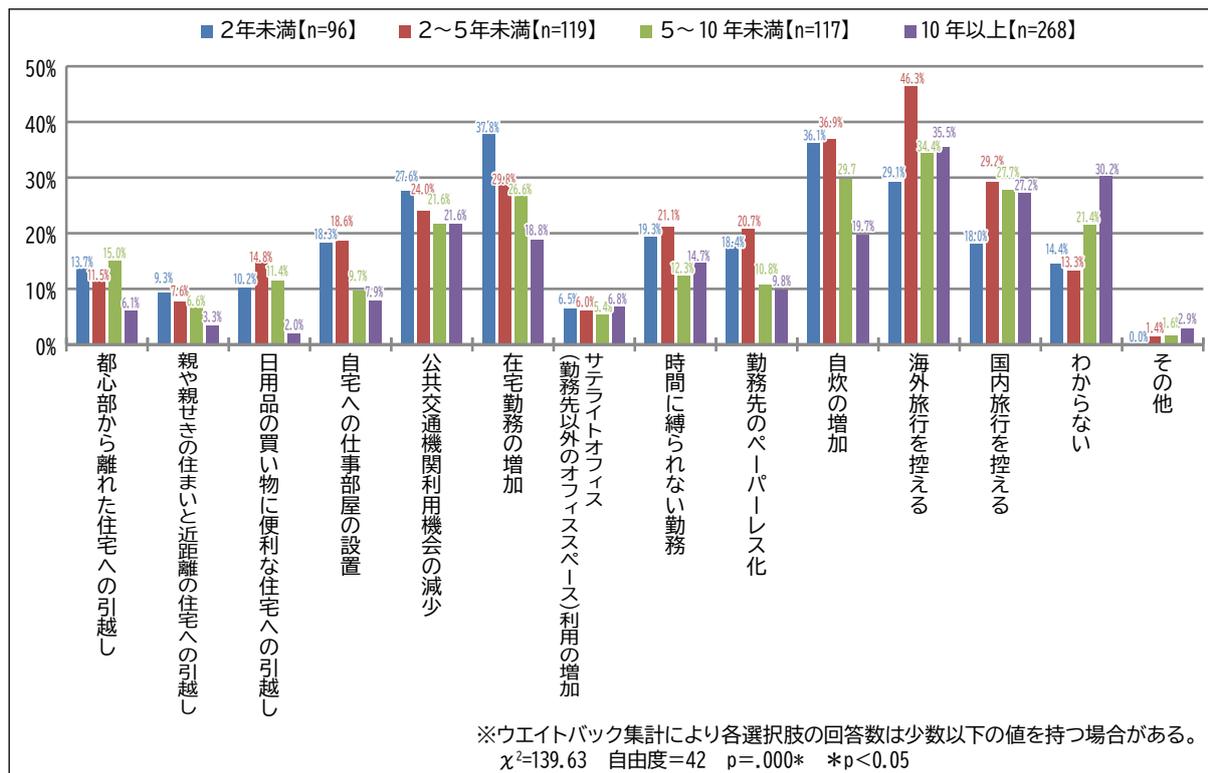
「2年未満」は、「在宅勤務の増加」が37.8%で最も多く、次いで「自炊の増加」(36.1%)、「海外旅行を控える」(29.1%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「海外旅行を控える」が46.3%で最も多く、次いで「自炊の増加」(36.9%)、「在宅勤務の増加」(29.8%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「海外旅行を控える」が34.4%で最も多く、次いで「自炊の増加」(29.7%)、「国内旅行を控える」(27.7%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「海外旅行を控える」が35.5%で最も多く、次いで「わからない」(30.2%)、「国内旅行を控える」(27.2%)などが多くなっている。

図表2-37-2-3 居住期間別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



エ 子どもの年齢別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化

子どもの年齢が高くなるほど「公共交通機関利用機会の減少」の回答割合が高くなる。また、「子ども0～6歳」は「日用品の買い物に便利な住宅への引越し」が他の属性と比較して高くなっている。

■調査結果

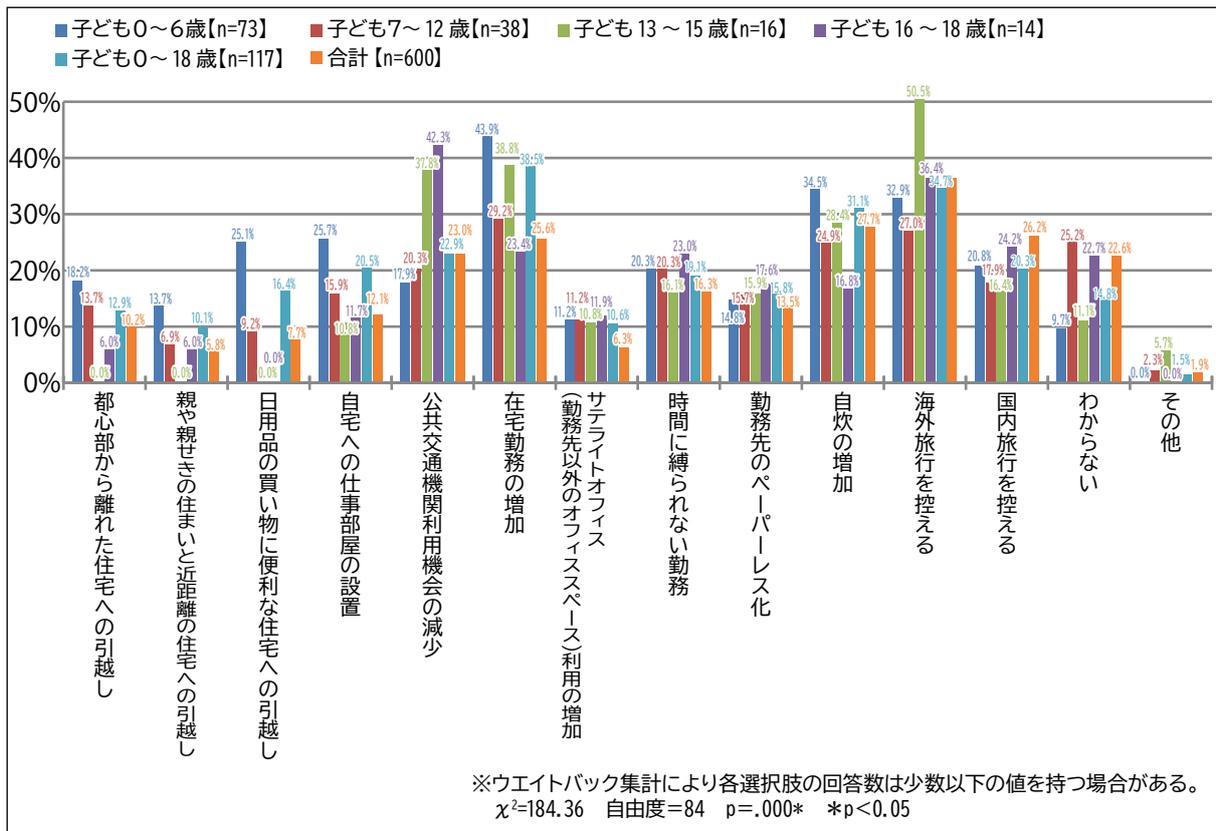
「子ども0～6歳」は、「在宅勤務の増加」が43.9%で最も多く、次いで「自炊の増加」(34.5%)、「海外旅行を控える」(32.9%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「在宅勤務の増加」が29.2%で最も多く、次いで「海外旅行を控える」(27.0%)、「わからない」(25.2%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「海外旅行を控える」が50.5%で最も多く、次いで「在宅勤務の増加」(38.8%)、「公共交通機関利用機会の減少」(37.8%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「公共交通機関利用機会の減少」が42.3%で最も多く、次いで「海外旅行を控える」(36.4%)、「国内旅行を控える」(24.2%)などが多くなっている。

図表2-37-2-4 子どもの年齢別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



オ 住宅の所有形態別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は、「都心部から離れた住宅への引越し」、「親や親せきの住まいと近距離の住宅への引越し」、「日用品の買い物に便利な住宅への引越し」といった引越しに係る内容の回答割合が高い。

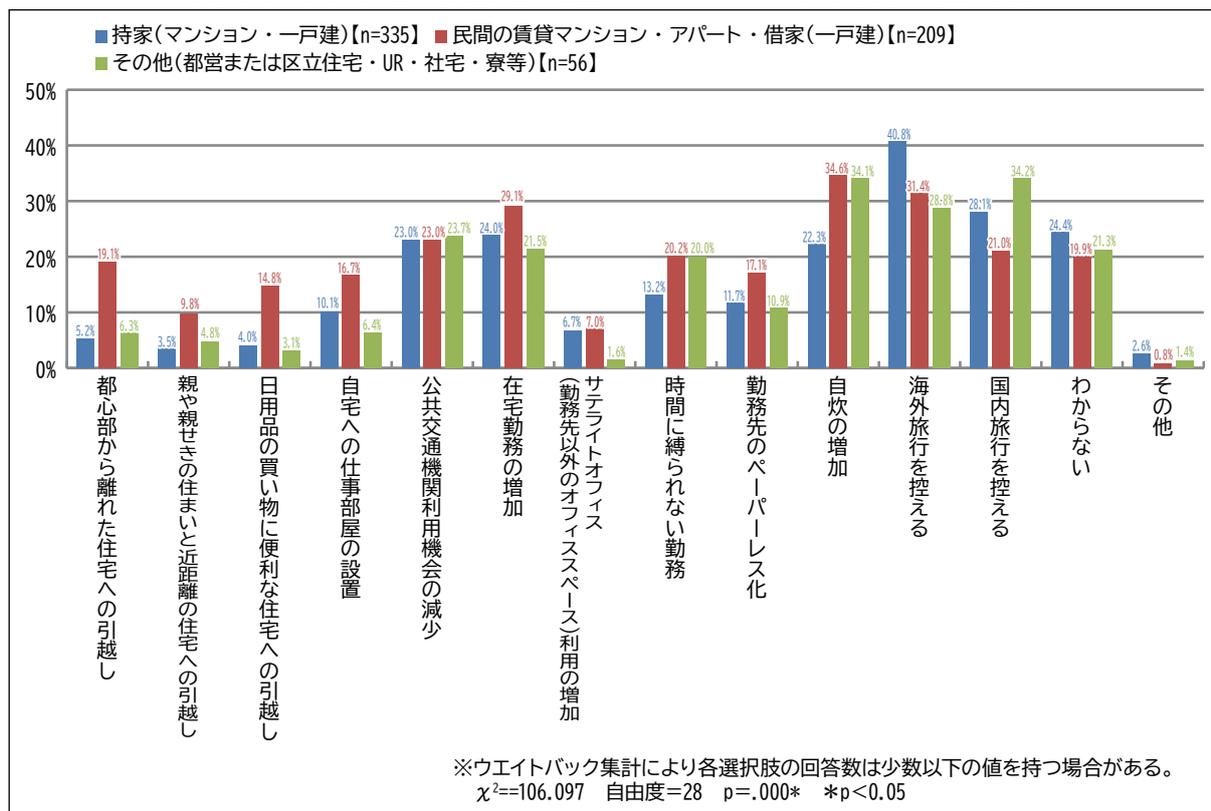
■調査結果

「持家（マンション・一戸建）」は、「海外旅行を控える」が40.8%で最も多く、次いで「国内旅行を控える」（28.1%）、「わからない」（24.4%）などが多くなっている。

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は、「自炊の増加」が34.6%で最も多く、次いで「海外旅行を控える」（31.4%）、「在宅勤務の増加」（29.1%）などが多くなっている。

「その他（都営または区立住宅・UR・社宅・寮等）」は、「国内旅行を控える」が34.2%で最も多く、次いで「自炊の増加」（34.1%）、「海外旅行を控える」（28.8%）などが多くなっている。

図表2-37-2-5 住宅の所有形態別新型コロナウイルスによる今後の生活の変化



38 オンライン化を希望する行政手続(問26)

問26 申請、届出、相談など行政の手続について、オンライン化を望むものをお答えください。(複数回答)

- 1 申請(住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等)
- 2 届出(住民登録関係(転入届・転出届・転居届等)・戸籍関係(出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等)等)
- 3 納付(施設利用料金・住民税(特別区民税・都民税)等)
- 4 手続に係る相談(福祉・高齢者・障害者・区税、国民年金等)
- 5 生活に係る相談(法律・子育て・教育等)
- 6 各種手続のオンライン化は必要ない
- 7 その他

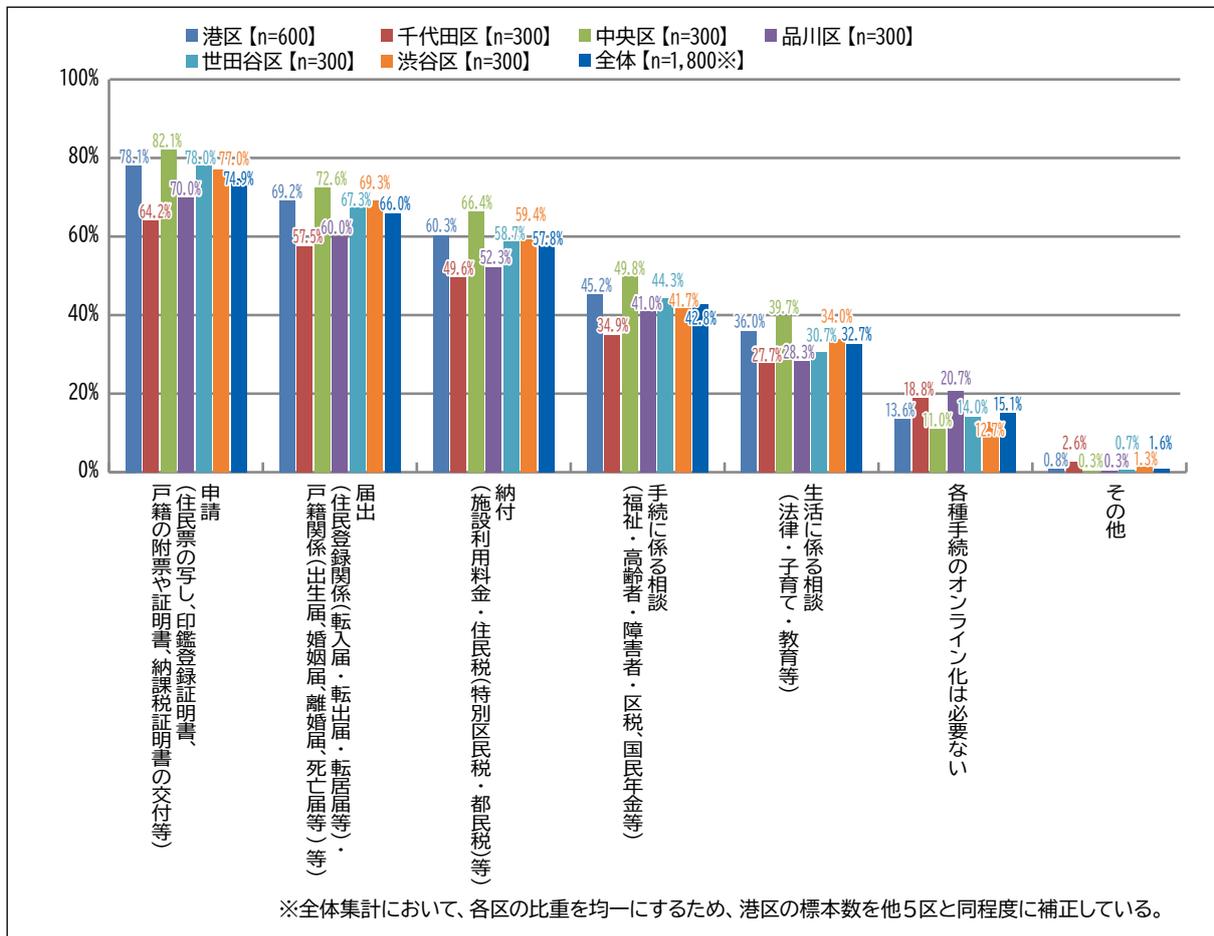
(1) 基本集計結果

いずれの区でも申請、納付、届出のすべてで割合が高く、行政サービス全般のオンライン化が求められていることが分かる。港区では、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が78.1%で最も高い。

■調査結果

港区は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が78.1%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（69.2%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（60.3%）などが多くなっている。

図表2-38-1-1 オンライン化を希望する行政手続



(2) クロス集計結果

ア 年齢別オンライン化を希望する行政手続

「65歳以上」で「生活に係る相談」の回答割合が低く、「各種手続のオンライン化は必要ない」の回答割合が高い。

■調査結果

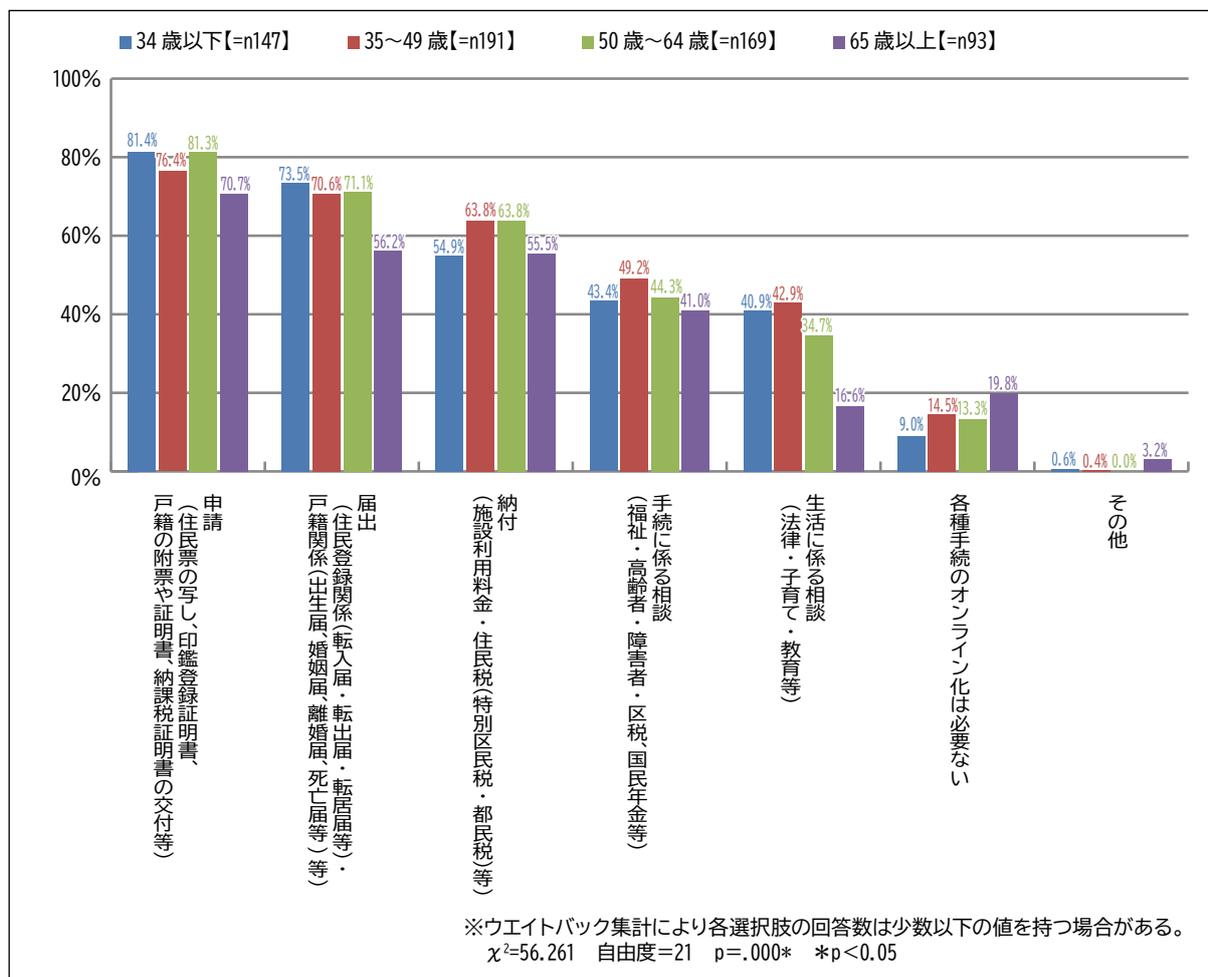
「34歳以下」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が81.4%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（73.5%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（54.9%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が76.4%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（70.6%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（63.8%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が81.3%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（71.1%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（63.8%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が70.7%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（56.2%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（55.5%）などが多くなっている。

図表2-38-2-1 年齢別オンライン化を希望する行政手続



イ 職業別オンライン化を希望する行政手続

「会社員・団体職員・公務員」は他の属性と比較して回答割合が高い傾向があり、「各種手続のオンライン化」は必要ないの回答割合がやや低い。

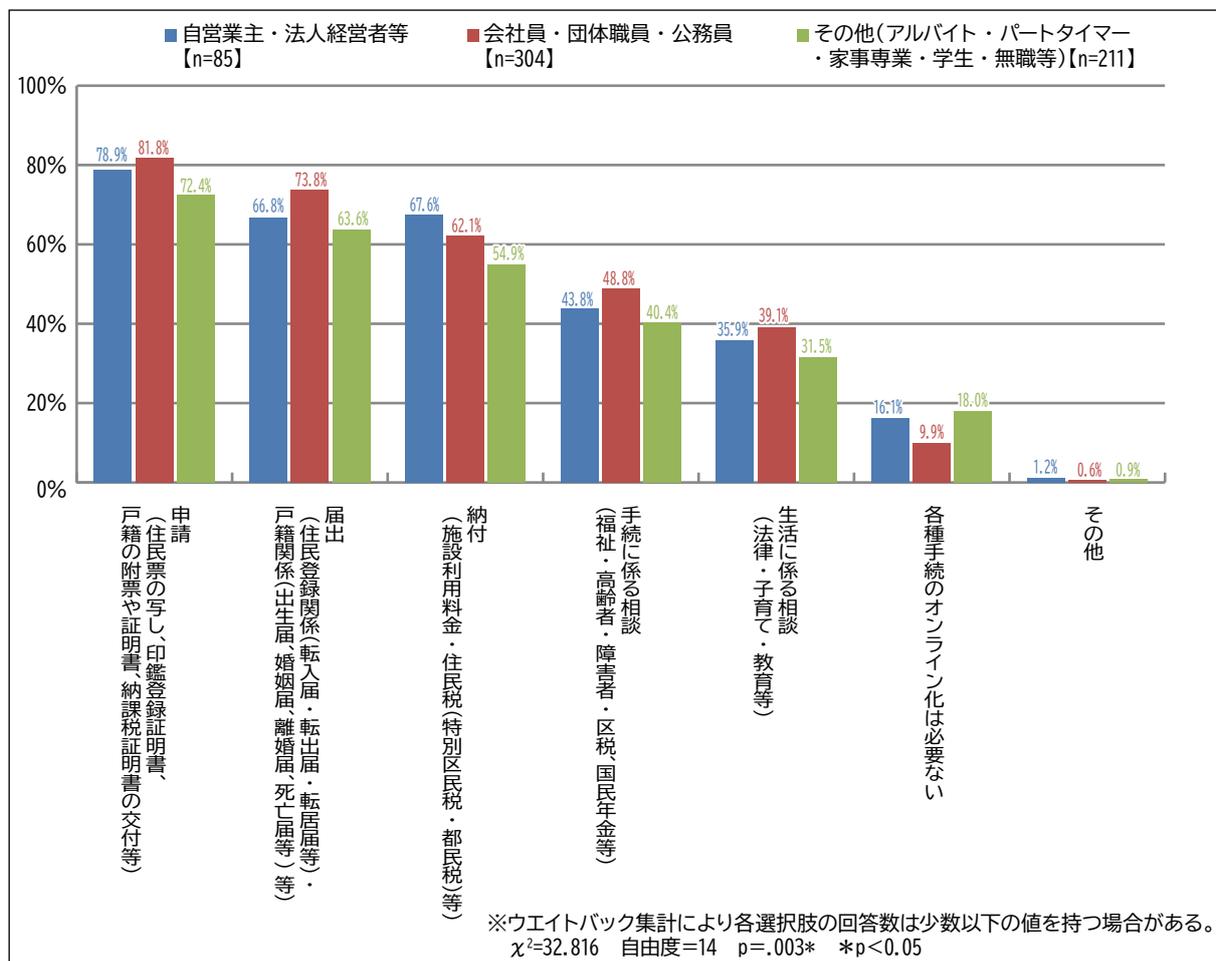
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が78.9%で最も多く、次いで「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（67.6%）、「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（66.8%）などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が81.8%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（73.8%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（62.1%）などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が72.4%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（63.6%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）」（54.9%）などが多くなっている。

図表2-38-2-2 職業別オンライン化を希望する行政手続



ウ 未婚者の結婚希望別オンライン化を希望する行政手続

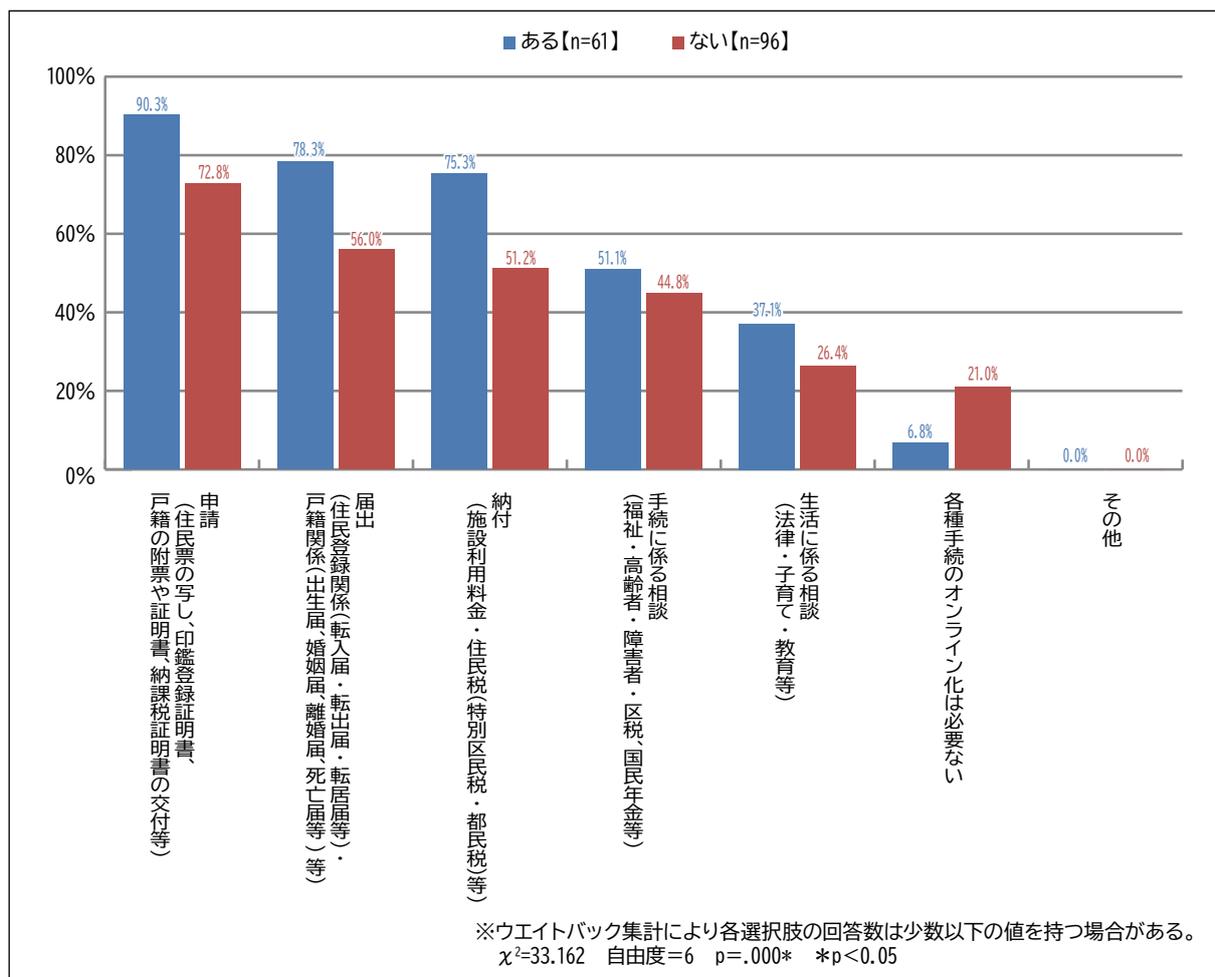
「ある」は全般的にオンライン化を希望する回答割合が高く、必要ないとする回答割合が低い。

■調査結果

「ある」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が90.3%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（78.3%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税等）」（75.3%）などが多くなっている。

「ない」は、「申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）」が72.8%で最も多く、次いで「届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）」（56.0%）、「納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税等）」（51.2%）などが多くなっている。

図表2-38-2-3 未婚者の結婚希望別オンライン化を希望する行政手続



39 行政のオンライン化が必要ない理由（問27）

問27（問26で6と回答した場合）

行政手続のオンライン対応が必要ないと回答した理由をお答えください。（複数回答）

- 1 窓口（実際に対面で）手続ができる方がよい
- 2 郵送で手続ができればよい
- 3 電話で用件が済む
- 4 パソコンやスマートフォンの操作が面倒
- 5 情報の安全性が確保できない
- 6 わからないことをその場で質問できない
- 7 その他

6区

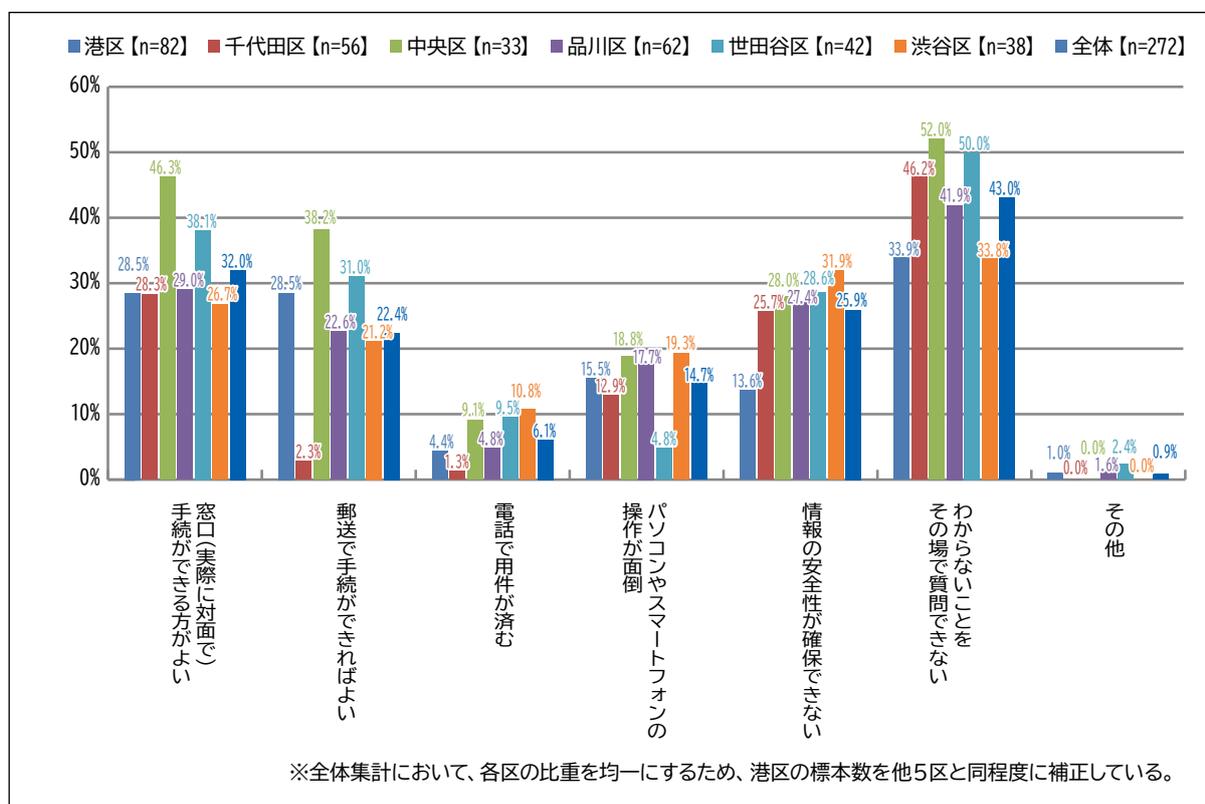
（1）基本集計結果

いずれの区でも「わからないことをその場で質問できない」が最も高い。

■調査結果

港区は、「わからないことをその場で質問できない」が33.9%で最も多く、「窓口（実際に対面で）手続ができる方がよい」（28.5%）、「窓口（実際に対面で）手続ができる方がよい」（28.5%）が同率2位である。

図表2-39-1-1 行政のオンライン化が必要ない理由



(2) クロス集計結果

ア 年齢別行政のオンライン化が必要ない理由【参考値】

港区

年齢が低くなるほど「わからないことをその場で質問できない」の回答割合が高くなり、年齢が高くなるほど「パソコンやスマートフォンの操作が面倒」の回答割合が高くなる。

また、「65歳以上」は「郵送で手続きができればよい」の回答割合が特に高く、34歳以下は「窓口（実際に対面で）手続きができる方がよい」の回答割合が低い。

■調査結果

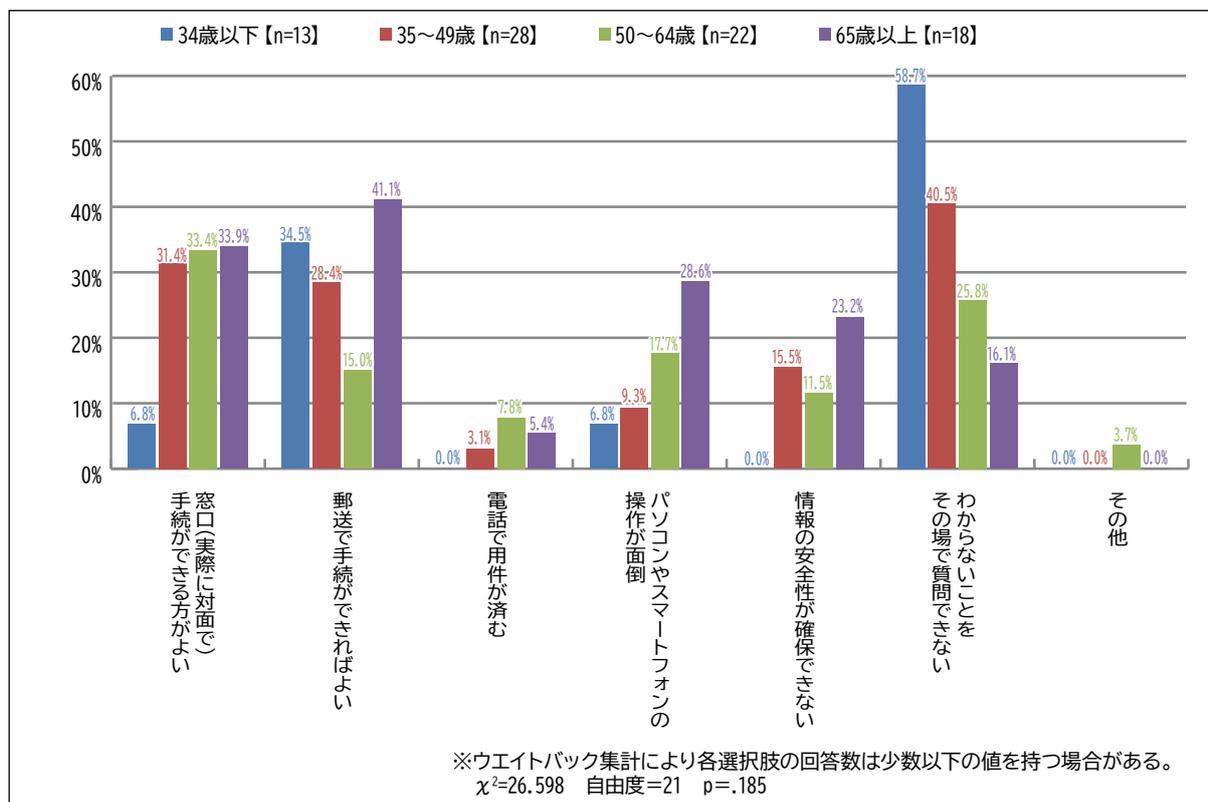
「34歳以下」は、「わからないことをその場で質問できない」が58.7%で最も多く、次いで「郵送で手続きができればよい」(34.5%)が多くなっている。

「35～49歳」は、「わからないことをその場で質問できない」が40.5%で最も多く、次いで「窓口（実際に対面で）手続きができる方がよい」(31.4%)、「郵送で手続きができればよい」(28.4%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「窓口（実際に対面で）手続きができる方がよい」が33.4%で最も多く、次いで「わからないことをその場で質問できない」(25.8%)、「パソコンやスマートフォンの操作が面倒」(17.7%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「郵送で手続きができればよい」が41.1%で最も多く、次いで「窓口（実際に対面で）手続きができる方がよい」(33.9%)、「パソコンやスマートフォンの操作が面倒」(28.6%)などが多くなっている。

図表2-39-2-1 年齢別行政のオンライン化が必要ない理由【参考値】



40 行政のオンライン化に対する不安・課題（問28）

問28 これから行政手続のオンライン化が進む中で、課題に思うことや不安に感じることがあれば教えてください。（複数回答）

- 1 機器（PCやスマートフォン）の操作
- 2 機器（PCやスマートフォン）の性能
- 3 自宅の通信環境
- 4 費用負担の増加（機器、通信料等）
- 5 情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）
- 6 わからないことをその場で質問できない
- 7 不安はない
- 8 その他

6区

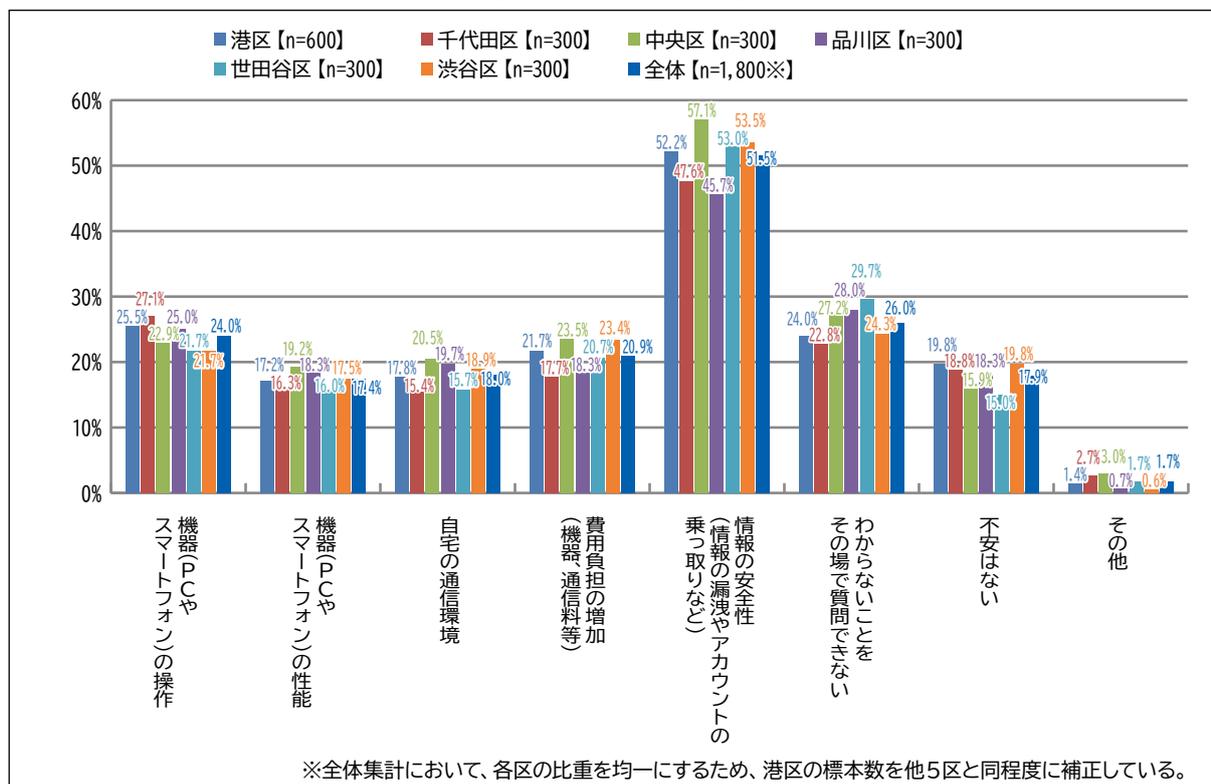
(1) 基本集計結果

全般的に回答率が高いが、区を問わず「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が最も高く、セキュリティに不安を感じていることが分かる。

■調査結果

港区は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が52.2%で最も多く、次いで「機器（PCやスマートフォン）の操作」（25.5%）、「わからないことをその場で質問できない」（24.0%）などが多くなっている。

図表2-40-1-1 行政のオンライン化に対する不安・課題



(2) クロス集計結果

ア 年齢別行政のオンライン化に対する不安・課題

港区

年齢が高いほど「情報の安全性」の回答割合が高くなる。

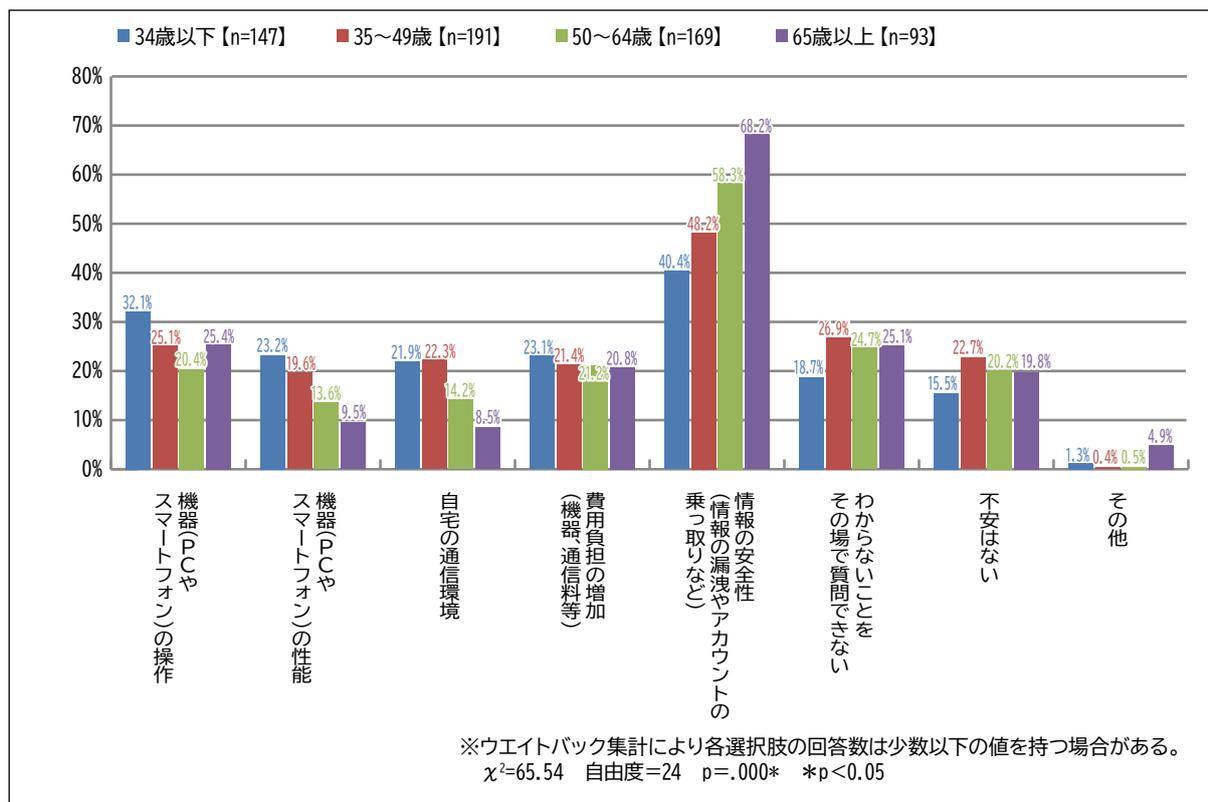
■調査結果

「34歳以下」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が40.4%で最も多く、次いで「機器（PCやスマートフォン）の操作」（32.1%）、「機器（PCやスマートフォン）の性能」（23.2%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が48.2%で最も多く、次いで「わからないことをその場で質問できない」（26.9%）、「機器（PCやスマートフォン）の操作」（25.1%）などが多くなっている。「50～64歳」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が58.3%で最も多く、次いで「わからないことをその場で質問できない」（24.7%）、「費用負担の増加（機器、通信料等）」（21.2%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が68.2%で最も多く、次いで「機器（PCやスマートフォン）の操作」（25.4%）、「わからないことをその場で質問できない」（25.1%）などが多くなっている。

図表2-40-2-1 年齢別行政のオンライン化に対する不安・課題



「自営業主・法人経営者等」は「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」の回答割合が高い。

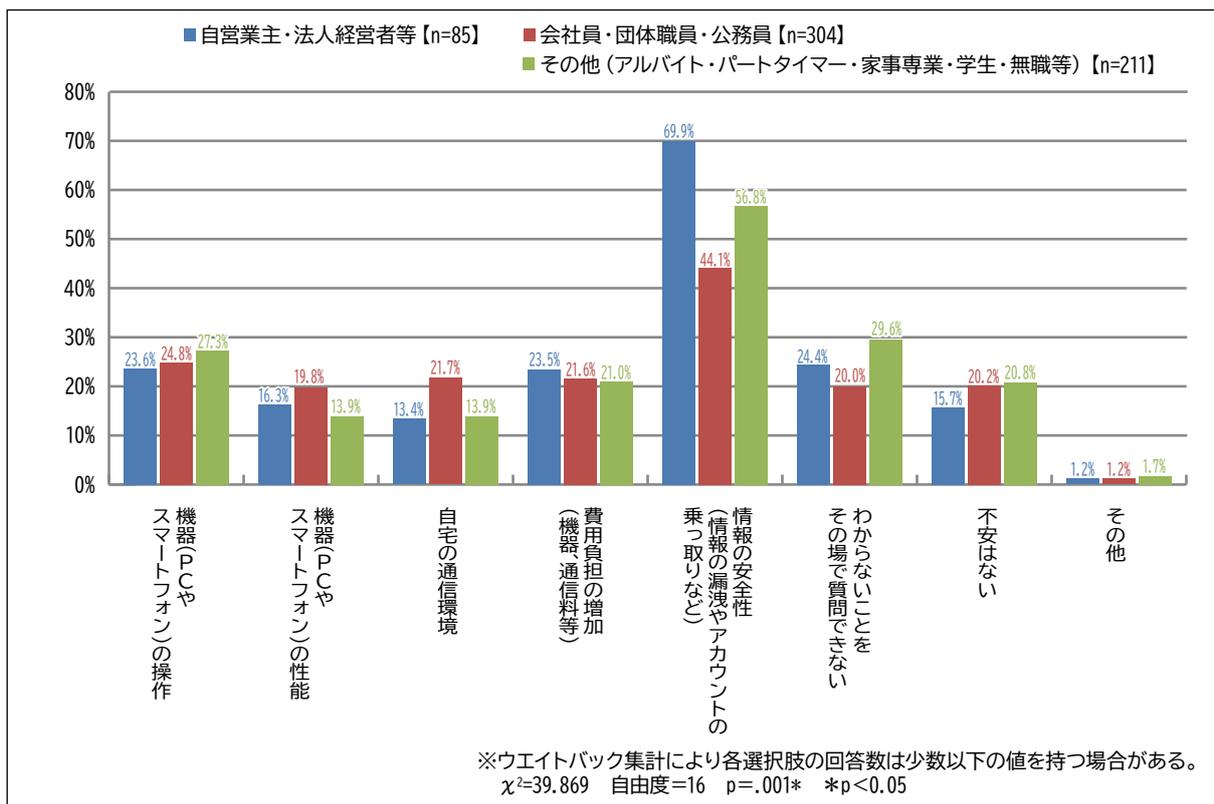
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が69.9%で最も多く、次いで「わからないことをその場で質問できない」（24.4%）、「機器（PCやスマートフォン）の操作」（23.6%）などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が44.1%で最も多く、次いで「機器（PCやスマートフォン）の操作」（24.8%）、「自宅の通信環境」（21.7%）などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）」が56.8%で最も多く、次いで「わからないことをその場で質問できない」（29.6%）、「機器（PCやスマートフォン）の操作」（27.3%）などが多くなっている。

図表2-40-2-2 職業別行政のオンライン化に対する不安・課題



41 キャッシュレス決済の必要性（問29）

問29 窓口やオンラインでの手続きに係るキャッシュレス決済の必要性についてお答えください。

1 必要 2 どちらとも言えない 3 不要

(1) 基本集計結果

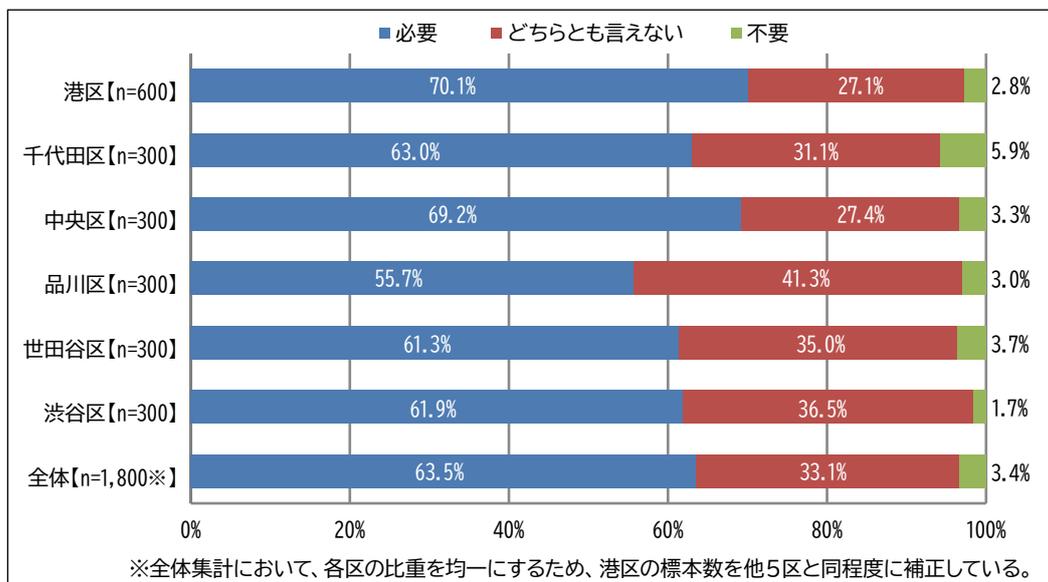
6区

いずれの区でも「必要」が過半数を超えている。中でも港区は70.1%で6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「必要」が70.1%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(27.1%)、「不要」(2.8%)などが多くなっている。

図表2-41-1-1 キャッシュレス決済の必要性



(2) クロス集計結果

ア 年齢別キャッシュレス決済の必要性

港区

年齢が高くなるほど「必要」の回答割合が低くなり、「どちらとも言えない」の回答割合が高くなる。

■調査結果

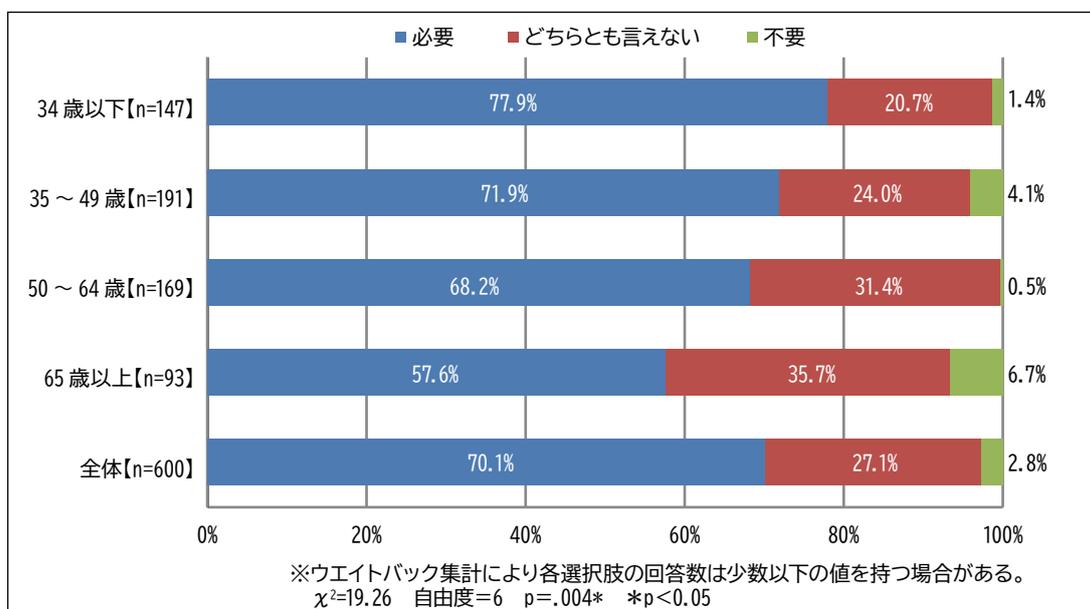
「34歳以下」は、「必要」が77.9%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(20.7%)が多くなっている。

「35～49歳」は、「必要」が71.9%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(24.0%)が多くなっている。

「50～64歳」は、「必要」が68.2%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(31.4%)が多くなっている。

「65歳以上」は、「必要」が57.6%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(35.7%)が多くなっている。

図表2-41-2-1 年齢別キャッシュレス決済の必要性



イ 職業別キャッシュレス決済の必要性

港区

「会社員・団体職員・公務員」は「必要」の回答割合が最も高く、「どちらとも言えない」の回答割合が最も低い。

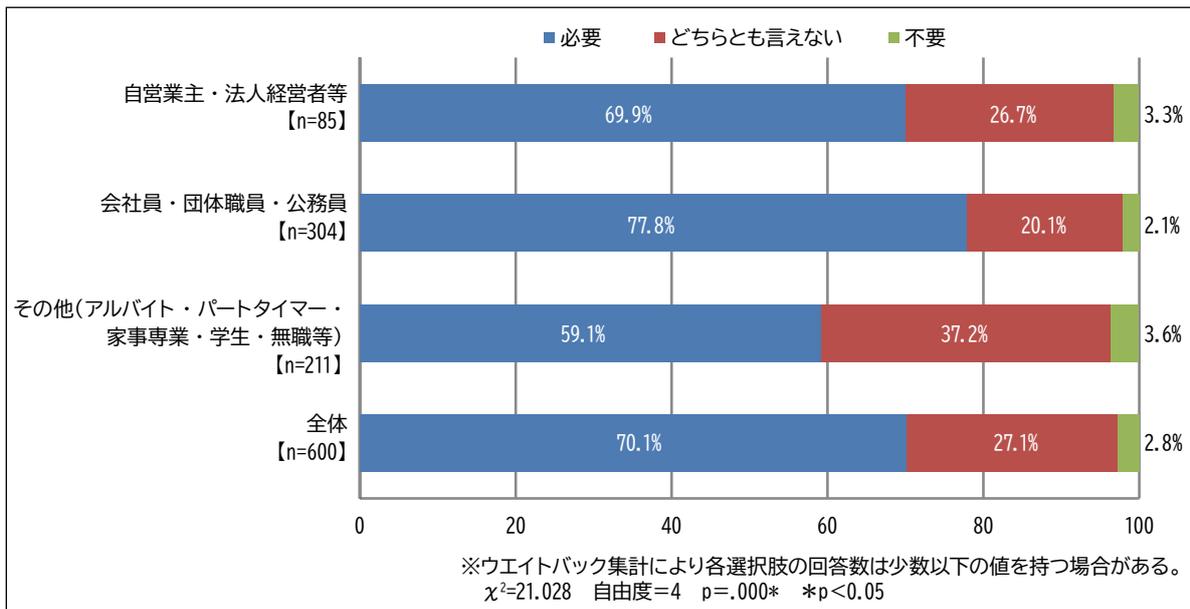
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「必要」が69.9%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(26.7%)が多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「必要」が77.8%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(20.1%)が多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「必要」が59.1%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(37.2%)が多くなっている。

図表2-41-2-2 職業別キャッシュレス決済の必要性



ウ 子どもの年齢別キャッシュレス決済の必要性【参考値】

港区

「子ども0～6歳」、「子ども7～12歳」は他の属性と比較して「必要」の割合が高く、子どもの年齢が高くなるほど「必要」の回答割合が低くなる傾向がある。

■調査結果

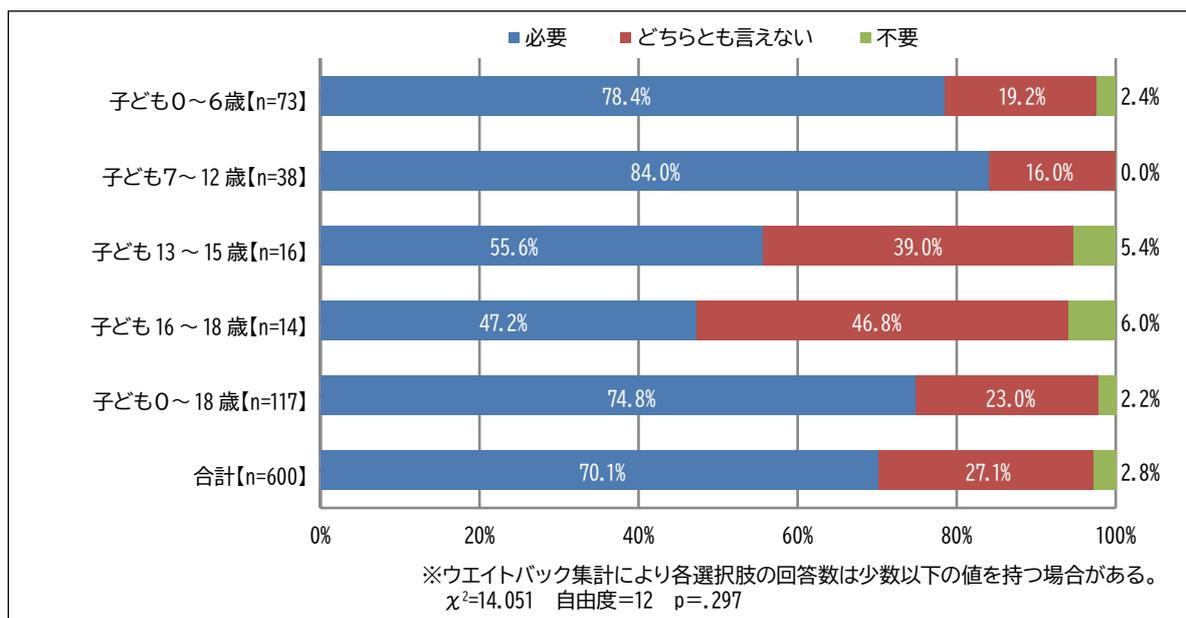
「子ども0～6歳」は、「必要」が78.4%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(19.2%)が多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「必要」が84.0%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(16.0%)が多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「必要」が55.6%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(39.0%)が多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「必要」が47.2%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(46.8%)が多くなっている。

図表2-41-2-3 子どもの年齢別キャッシュレス決済の必要性【参考値】



42 よく利用する支払方法（問30）

問30（問29で1と回答した場合）

普段の生活において利用している支払方法お答えください。（複数回答）

- 1 PayPay
- 2 楽天ペイ
- 3 LINE Pay
- 4 メルペイ
- 5 d払い
- 6 au PAY
- 7 J-Coin Pay
- 8 ペイジー（インターネットバンキング・ATM）
- 9 クレジットカード
- 10 デビットカード
- 11 交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）
- 12 nanaco
- 13 WAON
- 14 楽天Edy
- 15 iD
- 16 QUICPay
- 17 特にない
- 18 その他

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「クレジットカード」、「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」、「PayPay」の順に高く、中でも「クレジットカード」は7、8割に達している。

■調査結果

港区は、「クレジットカード」が77.8%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（69.4%）、「PayPay」（48.4%）などが多くなっている。

図表2-42-1-1 よく利用する支払方法

	港区 【n=421】	千代田区 【n=189】	中央区 【n=208】	品川区 【n=167】	世田谷区 【n=184】	渋谷区 【n=186】	全体 【n=1,144 ※】
第1位	クレジットカード 77.8%	クレジットカード 73.7%	クレジットカード 85.8%	クレジットカード 79.0%	クレジットカード 78.3%	クレジットカード 80.2%	クレジットカード 79.2%
第2位	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 69.4%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 66.1%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 73.4%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 70.7%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 66.8%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 68.9%	交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類） 69.3%
第3位	PayPay 48.4%	PayPay 43.0%	PayPay 44.3%	PayPay 52.7%	PayPay 50.5%	PayPay 44.0%	PayPay 47.0%
第4位	楽天パイ 28.9%	LINE Pay 27.4%	nanaco 25.8%	楽天パイ 25.7%	楽天パイ 28.8%	楽天パイ 25.2%	楽天パイ 25.4%
第5位	WAON 25.3%	d払い 23.6%	d払い 23.4%	nanaco 24.6%	nanaco 25.5%	d払い 21.4%	nanaco 23.0%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別よく利用する支払方法

港区

「クレジットカード」と「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」等は年齢が高くなるほど回答割合が高くなる。

■調査結果

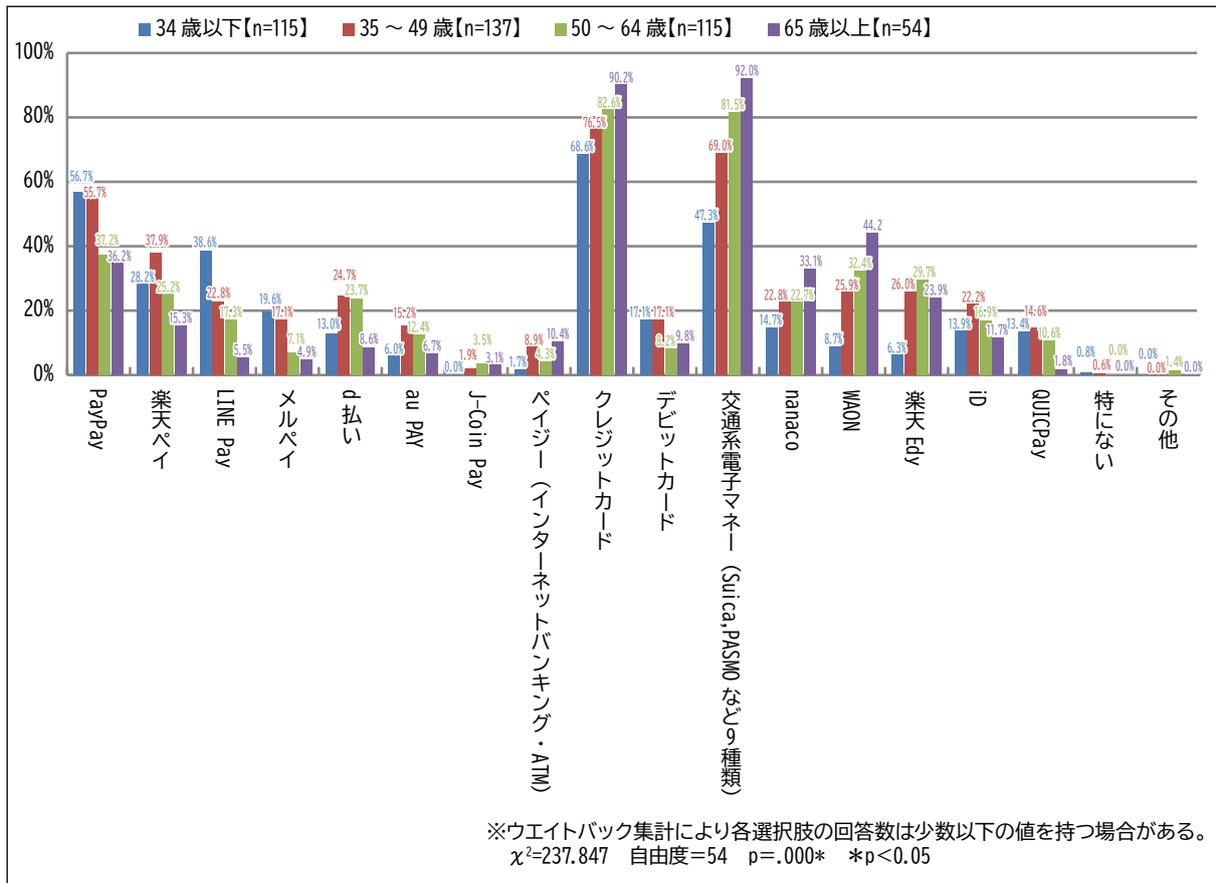
「34歳以下」は、「クレジットカード」が68.6%で最も多く、次いで「PayPay」（56.7%）、「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（47.3%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「クレジットカード」が76.5%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（69.0%）、「PayPay」（55.7%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「クレジットカード」が82.6%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（81.5%）、「PayPay」（37.2%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」が92.0%で最も多く、次いで「クレジットカード」（90.2%）、「WAON」（44.2%）などが多くなっている。

図表2-42-2-1 年齢別よく利用する支払方法



イ 職業別よく利用する支払方法

港区

「会社員・団体職員・公務員」は「PayPay」、「楽天ペイ」、「LINE Pay」などの電子決済の回答割合が相対的に高くなっている。

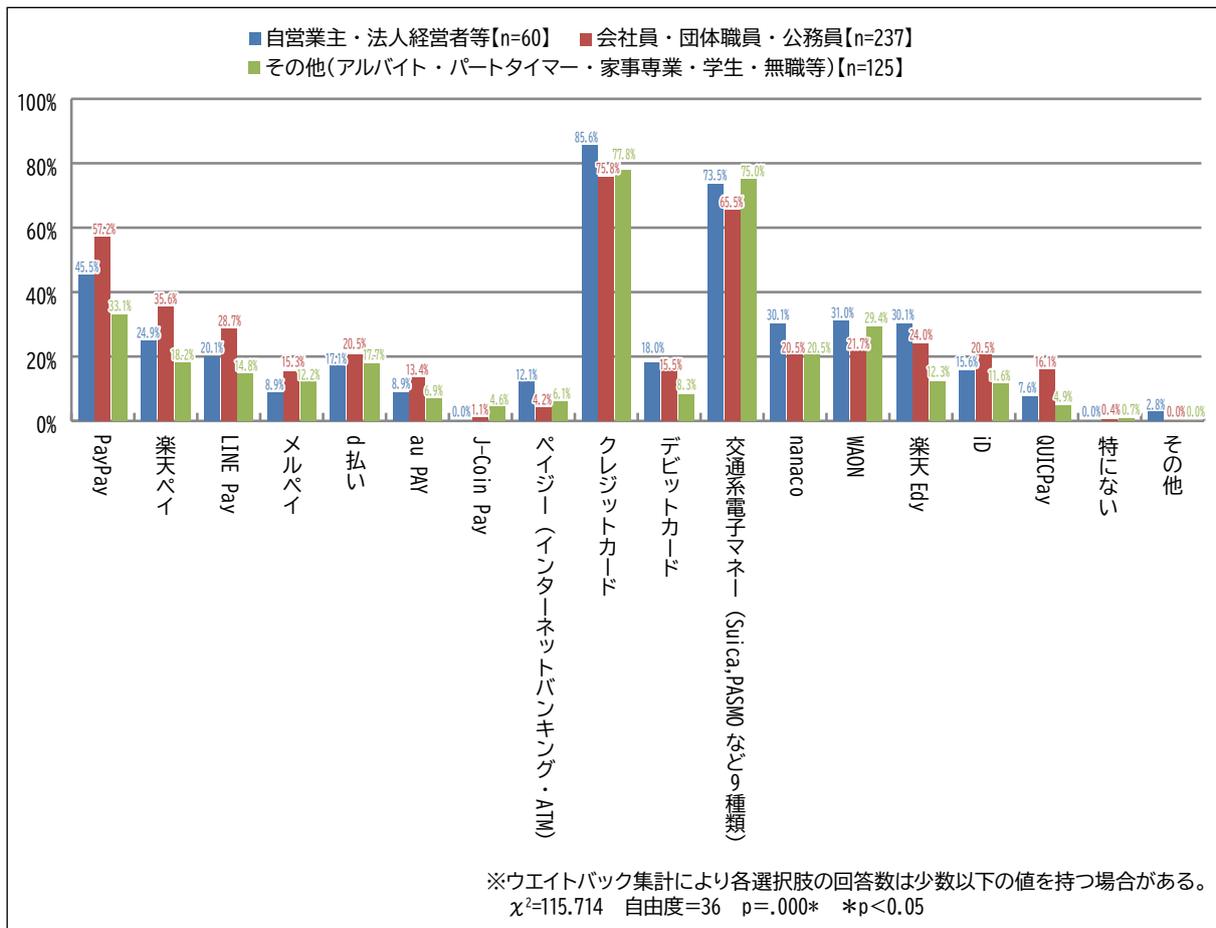
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「クレジットカード」が85.6%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（73.5%）、「PayPay」（45.5%）などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「クレジットカード」が75.8%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（65.5%）、「PayPay」（57.2%）などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「クレジットカード」が77.8%で最も多く、次いで「交通系電子マネー（Suica、PASMO など9種類）」（75.0%）、「PayPay」（33.1%）などが多くなっている。

図表2-42-2-2 職業別よく利用する支払方法



Ⅲ 調査結果 自由回答

本項では、各設問の「その他」の回答の具体的な内容や自由記述の設問の回答内容を取りまとめている。

自由回答の掲載に当たっては、回答者の意見を尊重するとともに、調査結果を区の具体的施策に役立てるために、肯定的なものも否定的なものも偏りなく掲載することとした。

原則として回答者が記入した原文のまま掲載しているが、誤字脱字等は読みやすさを考慮して修正しているものもある。また、回答者、個人、地名等の特定を避ける必要がある場合は、趣旨を変えずに回答の一部を変更又は削除して掲載した。

問3 あなたの職業をお知らせください。

区	番号	回答内容	年齢・性別	区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	大学教員	60～64歳、女性	世田谷区	1	自由業	55～59歳、男性
	2	家族従事者	35～39歳、男性		2	自由業	65～69歳、男性
	3	フリーランス	65～69歳、男性		3	自由業	60～64歳、女性
	4	定年退職	75～79歳、男性		4	自由業	35～39歳、女性
	5	退職	85～89歳、女性		5	自由業	60～64歳、男性
	6	会社役員	50～54歳、女性		6	専業主婦	75～79歳、女性
	7	飲食業	50～54歳、女性		7	NPO職員（障害者生活支援施設勤務）	70～74歳、女性
	8	飲食業	50～54歳、女性		8	フリーター	25～29歳、女性
	9	専門職	45～49歳、女性	品川区	1	団体嘱託	60～64歳、男性
	10	家事手伝い	60～64歳、女性		2	任意団体役員	70～74歳、男性
	11	自由業	50～54歳、女性		3	自由業	40～44歳、男性
	12	自由業	55～59歳、女性		4	自由業	65～69歳、女性
	13	自由業	60～64歳、女性		5	フリーランス	65～69歳、女性
千代田区	1	専門職	50～54歳、男性	渋谷区	1	フリーランス	55～59歳、女性
中央区	1	フリーランス	50～54歳、女性		2	定年退職	70～74歳、男性
	2	フリーランス	55～59歳、男性		3	定年退職	75～79歳、男性
	3	会社員・育休中	35～39歳、女性		4	在宅ワーク	40～44歳、女性
	4	専門職	40～44歳、女性		5	自由業	70～74歳、男性
	5	自由業	45～49歳、女性		6	ボイストレーナー 非常勤講師	60～64歳、女性
	6	年金受給者	25～29歳、男性				
	7	鍼灸師	65～69歳、女性				

問7 現在のお住まいの所有形態をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	不明	20～24歳、女性
	2	シェアハウス	35～39歳、男性
	3	パートナーの持家 (マンション)	50～54歳、女性
千代田区	1	住居付テナントビル	45～49歳、男性
	2	住居付テナントビル	45～49歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
千代田区	3	持ちビル	65～69歳、女性
	4	持ちビル	50～54歳、女性
	5	自社	35～39歳、女性
	6	親所有のビル	55～59歳、女性
世田谷区	1	シェアハウス	30～34歳、女性
渋谷区	1	持ち家共同住宅	65～69歳、男性
	2	賃貸併用持ちビル	60～64歳、女性

問8 現在お住まいの区で満足な点をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	タワーマンション	45～49歳、男性
	2	資産価値	55～59歳、男性
	3	生まれたところへの愛着	45～49歳、男性
	4	勤務先から近い	50～54歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
千代田区	1	秋葉原が近い	20～24歳、男性
	2	生まれた町	50～54歳、男性
中央区	1	繁華街との近さ	40～44歳、女性
世田谷区	1	物件の新しさ	35～39歳、女性

問9 現在お住まいの区で不満な点をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	物価が高い	65～69歳、男性
	2	物価が高い	55～59歳、男性
	3	物価が高い	35～39歳、男性
	4	物価が高い、高い店 しかほとんどない	40～44歳、女性
	5	固定資産税が高い	30～34歳、女性
	6	人が多い	20～24歳、女性
	7	観光客が多い	50～54歳、女性
	8	静かさ	50～54歳、男性
	9	となりがうるさい	55～59歳、女性
	10	塩害	85～89歳、女性
	11	建物が古い	30～34歳、女性
千代田区	1	物価の高さ	65～69歳、女性
	2	物価	20～24歳、男性
	3	住民税等が高い	50～54歳、女性
	4	地元以外から遊びに来 る者のモラルの低さ	40～44歳、男性
	5	電柱が多い	60～64歳、男性
中央区	1	良くわからない	45～49歳、女性
	2	おしゃれなカフェ などが無い	30～34歳、女性
	3	住民の品のなさ	35～39歳、女性
	4	マンションやホテル 建設が増えてきたの で今後の駅の混雑や 治安悪化が心配	40～44歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	5	駅までの距離	65～69歳、女性
	6	狭い	50～54歳、女性
	7	首都高の騒音	35～39歳、男性
	8	夜中の騒音	40～44歳、女性
	9	子供や若者が騒がしい	45～49歳、女性
世田谷区	1	街が楽しくてお金 が足りない	35～39歳、女性
	2	近隣がうるさい	45～49歳、女性
	3	隣の高齢者	50～54歳、女性
	4	日当たり	60～64歳、男性
	5	カラスが多い	60～64歳、男性
	6	電車の混雑	35～39歳、女性
渋谷区	1	住民税が高い	70～74歳、男性
	2	物価が高い	40～44歳、女性
	3	物価が高い	50～54歳、女性
	4	物価が高い	65～69歳、女性
	5	人が多い	45～49歳、男性
	6	観光客や住人以外 が多く訪れる	45～49歳、女性
	7	騒音	45～49歳、女性

問10（2）食料品、日用品の買い物の環境としてよい点をお答えください。

問10（3）また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	店舗の種類が豊富	50～54歳、女性
世田谷区	1	色々なお店があるので選べる	50～54歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	2	無人野菜スタンドが点在する	55～59歳、女性

問10（4）食料品、日用品の買い物の環境として悪い点をお答えください

問10（5）また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	ビジネスマンが多く混雑する	30～34歳、女性
	2	価格が高い	35～39歳、女性
	3	物価が高い	55～59歳、男性
	4	コンビニが少ない	50～54歳、男性
	5	店が小さい	70～74歳、女性
	6	鮮魚が少ない	45～49歳、女性
	7	品揃えが少ない	40～44歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
千代田区	1	接客態度	45～49歳、男性
中央区	1	店舗の種類	35～39歳、男性
	2	衣料品の店がない	70～74歳、女性
世田谷区	1	総菜	60～64歳、女性
品川区	1	待ち時間	35～39歳、男性
渋谷区	1	個性的な店がない	65～69歳、男性

問13 普段の買い物の利便性を向上させるサービスとして有効であると感じるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	サービスを省いて安価な店	55～59歳、男性
	2	生協	50～54歳、男性
	3	駐車場の整備	55～59歳、男性
	4	家電量販店・デパート・アトレの様な総合的に商品を揃える商業施設	60～64歳、女性
	5	大手のスーパーマーケット	70～74歳、女性
	6	大規模店舗	65～69歳、女性
	7	大型スーパー	70～74歳、女性
	8	シャトルバスの増便	40～44歳、女性
千代田区	1	通販	40～44歳、女性
	2	キャッシュレスの還元	20～24歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	1	現在居住の地域にある数店のドラッグストアが全て同じチェーン店なので、異なる系列店がバラついていて良いと思う	45～49歳、女性
	2	駐車場の設置	30～34歳、女性
	3	送料無料	35～39歳、女性
	4	ショッピングモール	70～74歳、女性
世田谷区	1	配達エリアの拡充	55～59歳、女性
品川区	1	ポイントが使える	55～59歳、女性
	2	いつでも安い	60～64歳、女性
渋谷区	1	駐車場の整備	60～64歳、女性

問14（2）子育てや教育について、現在、お住まいの区において魅力を感じる要素をお答えください。
問14（3）また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	援助がある	45～49歳、男性
	2	私立の学校が多く 選択肢が広い	55～59歳、男性
	3	素晴らしい図書館 がある	55～59歳、男性
	4	落ち着いた環境	40～44歳、女性
	5	教育レベルが高い	50～54歳、男性
	6	不妊治療費や出産 入院費などの費用 助成が充実してい る	40～44歳、女性
	7	自治体の財政支援	70～74歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	1	徒歩5分以内の立地	60～64歳、男性
	2	公園が多い	30～34歳、女性
世田谷区	1	子供の数が増加し ている	55～59歳、女性
品川区	1	色々と支援がある ようだが内容は知 らない	40～44歳、女性
	2	こどもへの医療費 の助成（無料が多 い）	45～49歳、女性

問15（2）地域イメージとして魅力を感じる要素をお答えください。
問15（3）また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	多様性に富んでい る	55～59歳、男性
	2	ブランド	35～39歳、男性
	3	住民のクオリティ	70～74歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	1	夜景が素晴らしい	65～69歳、女性
世田谷区	1	パチンコがない	35～39歳、女性
渋谷区	1	生まれ育った街だ から	25～29歳、男性

問17 転出を予定する理由（現在お住まいの区における不満）として当てはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	実家から遠い	30～34歳、女性
	2	出身地に帰還	65～69歳、男性
	3	海外への移住	35～39歳、男性
	4	会社	20～24歳、男性
	5	もっと自然豊かな地域 郊外でのんびり過ごすのもいい	45～49歳、女性
千代田区	1	食材（特に鮮魚）の種類と価格	50～54歳、男性
	2	将来性	60～64歳、男性
中央区	1	郊外と比べて人気（ひとけ）がなさすぎる	35～39歳、男性
	2	住民に品がない	35～39歳、女性
	3	渡米	40～44歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	4	もう少し㎡数の狭い所に転居	75～79歳、女性
	5	個性がない	70～74歳、男性
	6	他も見たい	30～34歳、男性
	7	今後発生する相続争い対策	25～29歳、男性
	8	環境に飽きた	25～29歳、男性
世田谷区	1	Iターンがしたい	55～59歳、男性
品川区	1	騒音	45～49歳、男性
	2	羽田新ルート騒音	50～54歳、男性
	3	実家に帰りたいから	25～29歳、男性
	4	近い将来妻の地元に戻りたい	35～39歳、男性
渋谷区	1	物価が高い	50～54歳、女性

問18 予定する転出のきっかけとしてご自身やご家族の状況にあてはまるものをお答えください。

問19 また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	リモートワーク	40～44歳、男性
	2	在宅勤務可能になったので、会社近くに住む必要がなくなった	40～44歳、女性
千代田区	1	老い先	60～64歳、男性
中央区	1	親族からの住宅の相続	45～49歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	2	近隣の変化	60～64歳、男性
	3	住まう理由がなくなった	70～74歳、男性
品川区	1	入園	30～34歳、女性
	2	新型肺炎の流行	60～64歳、女性
渋谷区	1	年金受給	60～64歳、男性
	2	コロナウイルス	35～39歳、男性

問21 転出先として考えている場所を選んだ理由をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	同棲相手が住んでるから	30～34歳、女性
	2	自家がある	60～64歳、男性
千代田区	1	自宅がある	50～54歳、男性
	2	食材（特に鮮魚）の種類と価格	50～54歳、男性
中央区	1	親族が住んでいるから	45～49歳、女性
	2	実家がある	30～34歳、男性
	3	実家が近い	35～39歳、女性
	4	夫が米国在住の為	40～44歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	5	街の個性	70～74歳、男性
	6	仕事の都合	25～29歳、男性
世田谷区	1	故郷	35～39歳、男性
	2	以前住んでいたのだから	30～34歳、女性
品川区	1	実家がある	40～44歳、男性
	2	ホームワークになったから	70～74歳、女性
渋谷区	1	物価	60～64歳、男性
	2	実家がある	55～59歳、女性
	3	持ち家がある	60～64歳、男性

問22 現在お住まいの区に住み続ける理由としてあてはまるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	タワーマンション	45～49歳、男性
	2	多様性に富んでいる	55～59歳、男性
	3	強固な地盤で液状化の心配もなく高台なので津波の心配もない	55～59歳、男性
	4	立地の良さ	40～44歳、女性
	5	生まれた時から港区住民	60～64歳、女性
	6	ずっと住んでいるから	55～59歳、女性
千代田区	1	ここに家があるから	65～69歳、女性
	2	家があるから	65～69歳、男性
	3	生まれた時から	70～74歳、女性
中央区	1	地元	55～59歳、男性
	2	地元だから	60～64歳、男性
世田谷区	1	区外に住んだことがない	65～69歳、女性
	2	住み慣れているので。よそに行ったらまたやり直しになって大変なので	60～64歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	3	持ち家なので	50～54歳、男性
	4	生まれ育った町だから	50～54歳、男性
	5	住み慣れているから	60～64歳、女性
	6	持ち家だから	40～44歳、女性
	7	自宅だから	60～64歳、女性
	8	親が近くに住んでいる	55～59歳、女
品川区	1	出生地	35～39歳、男性
	2	生まれてからずっと住んでいるから	55～59歳、女性
	3	引っ越しが大変	65～69歳、男性
渋谷区	1	慣れ	45～49歳、女性
	2	長く住んでいるので愛着がある	30～34歳、女性
	3	生まれ育った街だから離れない	25～29歳、男性

問23 新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や人との接触を避ける新しい生活様式が提唱されています。こうした状況を踏まえて新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比較して、住む場所を選ぶときに重要度が上がったものと下がったものをお答えください。

重要度が上がったもの

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	住むマンションの規模が大き過ぎない	25～29歳、女性
千代田区	1	他地域からの観光客・買い物客・遊興客等が流入しないこと	40～44歳、男性
	2	公共機関の柔軟性、金融機関の利便性	45～49歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	1	役所の対応の早さ	30～34歳、女性
	2	家族	55～59歳、女性
品川区	1	行政の良さ	55～59歳、女性
渋谷区	1	生活費全般の安さ	60～64歳、女性

問25 新型コロナウイルス感染症流行の経験を経た今後のご自身の生活の変化で予想されるものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	ICTの充実	55～59歳、男性
	2	帰省を控える	40～44歳、女性
	3	別荘滞在の増加	70～74歳、男性
中央区	1	運動不足	35～39歳、女性
	2	こころのデザイン	70～74歳、男性
世田谷区	1	適正備蓄と災害時に自宅で過ごす準備	55～59歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	2	ネットの速度が遅いので高速通信を考えている	60～64歳、女性
渋谷区	1	生活費の節約	60～64歳、女性
	2	もう少し家賃を抑えたい	45～49歳、女性
	3	人混みの回避	65～69歳、男性

問26 申請、届出、相談など行政の手続について、オンライン化を望むものをお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	投票	65～69歳、男性
	2	全部	30～34歳、男性
	3	オンラインの簡単化	75～79歳、男性
千代田区	1	選挙	45～49歳、男性
	2	選挙	25～29歳、女性
	3	不動産の登記、相続手続	60～64歳、男性
中央区	1	対応可否の格差	70～74歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	1	現時点では必要ない	70～74歳、女性
	2	相談はオンラインのテレビ電話のようなものが必要	60～64歳、女性
渋谷区	1	投票	20～24歳、男性
	2	全てコールセンターの充実が前提	60～64歳、男性
	3	十分整っている	45～49歳、男性
	4	何もかもオンライン化してほしい	25～29歳、男性

問27 行政手続のオンライン対応が必要ないと回答した理由をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	住基ネット	55～59歳、男性
世田谷区	1	オンラインは人の手によるものです。人のすることには必ずミスが付きます。対面手作業で防げることをオンラインでは防ぐことができません	60～64歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
品川区	1	やりたいことが思いつかないから	20～24歳、男性

問28 これから行政手続のオンライン化が進む中で、課題に思うことや不安に

区	番号	回答内容	年齢・性別	区	番号	回答内容	年齢・性別	
港区	1	申請の不備に気付けない	55～59歳、男性	中央区	1	システム不備	30～34歳、男性	
	2	ソフトの完成度が未熟でシステムが頻繁に使用できなくなる	70～74歳、男性		2	回答の遅さ	65～69歳、女性	
	3	サポート体制が不十分	85～89歳、女性		3	行政側のオンライン音痴	65～69歳、男性	
	4	アプリの簡単化	75～79歳、男性		4	行政のスピードの遅さと処理能力の低さ	35～39歳、女性	
	5	定型外の対応	70～74歳、男性		5	行政の知識、仕事のやり方等、全てに民間より劣る行政そのものに対する認識の甘さと仕事のやり方	75～79歳、女性	
	6	行政のホームページは画面遷移が複雑でユーザーインターフェースが悪すぎる。外部IT企業に委託してユーザーのことをもっと考えた作りしてほしい。また、ICカードのタッチリーダーなんて普通の家庭が持っているわけではないので、マイナンバーカードの活用には疑問を覚える	25～29歳、女性		6	手続の煩雑さ	55～59歳、女性	
千代田区	1	利用できるようになるまでの準備・申請がアナログな点	40～44歳、男性		世田谷区	1	自宅の通信環境だと思いますが、うちはたぶん高速通信は必要	50～54歳、女性
	2	手続の処理時間の不透明性と不確実性	50～54歳、男性			2	行政のポテンシャル	50～54歳、男性
	3	行政のやる気	60～64歳、男性			3	現場の対応の混乱	55～59歳、女性
	4	自治体の職員がちゃんと働くか	30～34歳、男性	品川区	1	ソフトウェアの信頼性と反応の速さ	70～74歳、男性	
	5	個人情報	45～49歳、男性		2	国・地方公共団体のシステム統一	70～74歳、男性	
	6	行政のオンラインシステムは民間に比べて使いづらい(行政の現ホームページの内容がわかりづらいように)	35～39歳、男性	渋谷区	1	役所のネットリテラシー、セキュリティ意識の低さ	50～54歳、女性	

問30 普段の生活において利用している支払方法をお答えください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	アリペイ	55～59歳、男性
	2	Apple Pay	55～59歳、男性

問31 最後に本調査に関連して何かご意見等ございましたらご自由にお書きください。

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	1	とにかく役所関係、選挙などはオンラインを基本にして対面を少なくすべき。役所関係はオンライン後の対応が遅すぎる。	45～49歳、男性
	2	行政ではなく立法の分野になるが、選挙の投票をオンライン化して欲しい。期日前投票があるとは言え、投票所までわざわざ足を運ばなければならないというのは、どう考えても前時代的だ。	65～69歳、男性
	3	区と支払い方法はあまり相関がないのではと思います。お疲れ様です。	50～54歳、男性
	4	役所の融通と利便性向上を求めたい。	30～34歳、男性
	5	日用品や耐久材の購入の設問で、インターネットが選択肢にないのが不思議であった。	30～34歳、男性
	6	コロナ発生後の生活環境に関する対応は、どのように変化していくのか知りたい。私は食品や日用品は実店舗派ですが、都心の店舗のさらなる充実を望んでいます。	60～64歳、女性
	7	もう少し社会保障が充実して人が安心して暮らせるようになればいいなと思っています。	40～44歳、女性
	8	世の中、余りにも便利になるのは、不安。	85～89歳、男性
	9	コロナで世界が変わり、IT化が急速に進み価値観も変わってくると思います。このアンケートの集計結果がとても興味あります	30～34歳、女性
	10	コロナをいつまでも怖がり続けず、冷静に普段どおりの生活に戻るべき。	35～39歳、女性
	11	まだまだコロナ関連が落ち着かないので、どうする事も、今現在は静観しかないと思う。	60～64歳、女性
	12	今後、with コロナの見地から全てにおいてオンライン化はさらに充実されるべき最重要事項になりました。その観点からとても良い調査だったと思います。	60～64歳、男性
	13	今、住んでいる地域についての事を、改めて考えてみた。	60～64歳、女性
	14	この調査に限らず、良い点！最も良い点・・・等の選択する質問時、商品名などを選ぶ場合は明確ですが、文章を読んで選ぶ際は、質問と項目内容が私的に一致しない時がある。例えばコロナ後の住宅環境の要望でしたか？違う内容なら分かりやすいが、前問内容と同じような内容で、ピンとこなかった。コロナとの関連性が分かりにくかった。	55～59歳、女性
	15	IT化の遅れが顕著	55～59歳、男性
	16	オンラインシステム導入で、基本情報の入力や処理を海外企業へ委託するのは安全でないと思う。	60～64歳、男性
	17	回答結果を反映させる取組をしてほしい。	40～44歳、女性
	18	キャッシュレス決済が進む中で、未だにauペイを使えないスーパーが多すぎます。もっとauペイで買い物ができるスーパーが増えることを望みます。	40～44歳、男性
	19	都会の家賃が今後暴落すると思う。	40～44歳、男性
	20	住んでいる地域は森ビル村なので、社員の方々が町内会の催し物を積極的に運営していただき楽しい地域になっている。開発時も近隣の住民の意見を聞き益々住みやすい街になっている。	65～69歳、女性
	21	是非回答を生かして生活しやすい環境に改善して欲しい。	55～59歳、女性
	22	どう利用するのか不明であるが、特に行政に近代化を望みたい	70～74歳、男性
	23	コロナがきっかけとなり、会社の制度、福利厚生（住宅手当、通勤手当など）が変わることで、郊外への転居は増えると思う	40～44歳、女性
	24	今後、転職はなくとも、勤務先の制度変化（住宅手当や通勤手当など）により、移転は大きく影響する面もあると思います。	40～44歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
港区	25	考えさせられました。ただ住んでいるだけではなく、もっと真剣に考えていないとダメだと思いました。	65～69歳、女性
	26	これからは今までと違った生活様式が発生するかもしれない。	65～69歳、男性
	27	with コロナの中での生活や仕事に関して改めて考えるきっかけとなりました。	55～59歳、男性
	28	将来について、改めて考え直す機会ができたこと。	75～79歳、女性
	29	コロナの影響による生活の変化に触れられとても切実な思いになりました。様々な影響が有る事を改めて痛感しました。	50～54歳、男性
	30	特に有りませんが「住めば都」で、どこに住んでもマイナス部分も有れば必ずプラスも有ると思います。コロナで一時地方の良さを感じても移り住むまでになるのは難しいでしょう。特に高齢者になると馴染んだ地区で済み続けたいです。	70～74歳、女性
	31	港区の治安の良さ、利便性の高さ、勤務先の近さを考え住み続けたいと思っていますが、書いている途中で、郊外も魅力あるかもしれないと感じました。	30～34歳、女性
	32	新しい生活様式が変わるとき、住む場所も変わると思います。	40～44歳、男性
	33	何の不便もなく生活していた、このアンケートで自分の住む地域をよく考えられてよかった。	65～69歳、女性
	34	港区は大変便利な所です。交通、買い物、子育て、等に対して、とても便利な所です。	75～79歳、女性
	35	不愉快。	40～44歳、男性
	36	長い。	45～49歳、女性
	37	長い。	50～54歳、男性
	38	アンケートが長過ぎる。もっと手短かに終わるものだけを用意して欲しい。	45～49歳、男性
	39	くだらない質問。	45～49歳、女性
	40	高齢者にとって新しい事は不便である。わかりやすい日本語を使う配慮を。	50～54歳、女性
	41	サラリーマンを対象とした調査のようですが、対象とならない人もいる。	60～64歳、男性
	42	全体的に指摘どころ満載の矛盾の多い質問だと感じた。	55～59歳、女性
	43	一々同じような質問が多い。	25～29歳、女性
	44	設問の選択肢の設け方が不自然なものがあった。	55～59歳、男性
	45	子育てを終えた者にとって、子育てに関する質問は不要。あるいは該当なしの答えを用意して欲しい。	55～59歳、女性
	46	よくできた調査と思った。	70～74歳、男性
	47	答えやすかった。	50～54歳、男性
	48	質問内容もわかりやすく良かったです。	45～49歳、男性
	49	全体的に回答はし易かった。	75～79歳、男性
50	やりやすかったです。	35～39歳、男性	
51	特に意見等はございません。回答が少しでも役に立てば嬉しいです。	35～39歳、男性	
52	お役に立てると幸いです。	45～49歳、女性	
53	ありがとうございます。	35～39歳、男性	
千代田区	1	身近な人で住居を移した人はいないのに、コロナにより住環境が変わるとの論調な記事が多いのは何故か？	50～54歳、男性
	2	マイナンバーは結局どうなったのでしょうか？これだって住基カードが上手くいかないから導入したのでは？こんな税金の無駄遣いはやめてほしい！	60～64歳、女性
	3	ネット選挙が先。	45～49歳、男性
	4	行政オンライン化急務。	50～54歳、女性
	5	行政がオンライン化を進めたいなら、絶対の安全性を確保すべきだ。情報の安全性の確保と、個人情報の保護の保証がない限り、無理だと思う。	45～49歳、女性
	6	国・自治体の手続きのオンライン化やキャッシュレス推進は、国側の負担削減にも資すると思うので、ぜひやってほしいと思います。	35～39歳、男性
	7	新型コロナは一過性のものだが、行政のデジタル化やキャッシュレス決済はそれらにかかわらず、計画的に進めてほしい。	60～64歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
千代田区	8	長い。	35～39歳、女性
	9	長い。	55～59歳、男性
	10	選択に悩む項目（自分としては該当しない）があり、ちゃんと答えられているか自信ない。	50～54歳、女性
	11	人によって状況が変わってくるし、住んでいる地域によって同じ区内でも変化すると思うので、質問を細かくしたほうがいい。	55～59歳、女性
	12	プライバシーもあるのでいいたくないも選択肢に加えてほしい。	45～49歳、男性
	13	キャッシュレスについて深掘したアンケートがもっとあった方がいい。	40～44歳、男性
	14	自転車での移動が多いのですが、駐輪場が少なく困ります。	40～44歳、女性
	15	行政と民間の視点がずれている。必要な情報や対応についての指針をもう少し示して欲しいし、意見を出し合って柔軟性を持たせながら皆がより経済活動できるようフォローして欲しい。	45～49歳、女性
	16	千代田区に住みもう40年近くになりますが、本当に区役所も出張所も近くにあり、保育園、幼稚園、少人数で充実しました。これからきっと住み続けるでしょう。住民が少ない分全てが手厚いですね。	60～64歳、女性
	17	住みやすさの改善に利用して欲しい。	25～29歳、女性
	18	80歳を超えると変化を望まない。すべて今のままがいいのです。	80～84歳、男性
	19	またお願いします。	30～34歳、女性
	20	改めて自分の生活の変化に気付きました。	25～29歳、男性
	21	いつも楽しくアンケートに参加させて頂いております。また、この様なアンケートが御座いましたら参加させて頂きます。	50～54歳、男性
	中央区	22	良かった。
23		良かった。	30～34歳、男性
24		振り返って勉強になりました。	50～54歳、女性
25		ありがとうございました。	60～64歳、男性
1		給付金が遅いのがちょっと嫌だなあと感じる。コロナはなかなか落ち着かないと感じる。	45～49歳、女性
2		コロナの第二波が来ても安心安全に生活したい。	35～39歳、女性
3		都心に住むと買い物や通勤は便利だけれど、都内でこんなにコロナ感染者がいると、あまり意味はなくなってくる。	60～64歳、男性
4		未曾有のコロナ禍に対応すべく新たな制度やサービスが逆に後世の足枷にならない事を心配します。そのためのこころのデザインを考える事が重要。	70～74歳、男性
5		キャッシュレス決済がもっと世に浸透してくれたら便利。	40～44歳、男性
6		キャッシュレス決済普及、行政のオンライン化、学校教育のオンライン化をしてほしい。日本は大昔のルールのまま今の時代に合わないやり方をしている。今の時代の人が大昔のやり方、ルール、法律に適應しなければいけないのはおかしい話。やり方、ルール、法律を今の時代に合ったものするのが自然。	25～29歳、男性
7		IT化を進めて先進的な街づくりを期待しています。	55～59歳、女性
8		個人情報漏れないようにしてください。	45～49歳、女性
9	十分な満足度を持って生活できており、特に急を要する改善項目はありません。	80～84歳、男性	
10	街の魅力と通信の関連性が不明。	65～69歳、男性	
11	役所の組織や働いている人が、古く固まっているから、変わらなければ、新しい導入は出来ない。国会議員もそうである。国民生活について実態を知らないから、こんな時代であっても、コロナでも必要のない経費、交通費等分捕っている。	70～74歳、女性	
12	このアンケートは自治体に対して、プラスに働くのだろうか。今後の取込みについて詳細を知りたい。	60～64歳、男性	

区	番号	回答内容	年齢・性別
中央区	13	同じような質問が連続するのはやめて欲しいです。内容はしばって質問数は簡素化して欲しい。	35～39歳、女性
	14	意図がよくわからない。	40～44歳、女性
	15	最後の質問は役所の窓口の話でしょうか？ 質問の意図が伝わりづらいです。	35～39歳、男性
	16	配偶者有無の質問は初めの方でも…。	30～34歳、男性
	17	何を聞きたかったのかよく分からない感じでした。	45～49歳、女性
	18	子供の環境などはわからない。	65～69歳、女性
	19	わかりにくかった。	20～24歳、男性
	20	長い。	55～59歳、女性
	21	長い。	35～39歳、男性
	22	少し長いアンケートでした。	50～54歳、女性
	23	簡単な質問が多いので、答えやすい。	45～49歳、女性
	24	コロナ禍で大きな変化が出てくると考える。この調査は有意義。行政の変化のきっかけになればいい。	55～59歳、男性
	25	いろいろな情報を見聞きすることができるので、アンケートを続けてきて良かったと思っている。	65～69歳、女性
	26	改めて自分の住んでる街の良さが分かったので良かったです。	20～24歳、男性
	27	とても良かったです。	30～34歳、男性
28	いいね。	60～64歳、男性	
29	楽しかった。	45～49歳、男性	
世田谷区	1	マイナンバーカードの銀行との紐づけの義務化に向けて行政の一層の努力をお願いしたい。コロナ患者の行動履歴の提出義務化への法整備を進めてほしい。情報提供拒否者への医療費の国庫負担を辞めるべし。	65～69歳、男性
	2	紙幣そのものが銀行券なので、それほどキャッシュレスに魅力を感じない	65～69歳、女性
	3	年寄りには、やはりインターネットは不安です。	65～69歳、男性
	4	私の意見がいくらかでもお役に立てれば幸いです。これからもどうぞよろしくお願い致します。	60～64歳、女性
	5	オンラインの手続きなどで、わからないことがあっても、解決できない。電話はつながらない	
	6	もっと大々的にやるべき。	25～29歳、男性
	7	多くの人がコロナ感染防止に努力しているのに、この地域のスーパーはマスクもしない客を平気で店に入れている。野球場や図書館などの食品を扱わない施設でもマスク義務付けているのになぜ食品を扱うスーパーは平気で入れるのか理解できない。スーパーの質の悪さについてのアンケートもお願いしたい。	65～69歳、男性
	8	コロナの状況は地域によっても様々で、都市部といってもひとくりにできないと思います。	45～49歳、女性
	9	セキュリティしっかりしてからでもいいです。	35～39歳、男性
	10	ロックダウンした海外にいて、納税や国保の納付などの延納手続きがオンラインでできず。	
	11	小中学校で、タブレット授業ができる環境を整えて欲しい。コロナの影響で学校が休みだった分の補習など実施して欲しい。	45～49歳、女性
	12	全体的にみると世田谷区で良かったと思います。	75～79歳、男性
	13	今住んでいる地域は、魅力がたくさんあります。	60～64歳、女性
	14	これからの住みやすい生活環境のために、宜しくお願いします。	60～64歳、女性
	15	表示が小さい。	40～44歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
世田谷区	16	選びたい選択肢が多く、5つに絞るのが難しかった。	45～49歳、男性
	17	答えやすい質問が多かったと思います。	25～29歳、男性
	18	通り一遍なアンケートだった。適切な選択肢が無かった。	70～74歳、男性
	19	子育て世代ではないので答えにくかった。	65～69歳、女性
	20	調査の趣旨が分かりにくい。	65～69歳、男性
	21	興味深い調査でした。	60～64歳、男性
	22	面白く興味深い内容の調査だと思いました。結果が気になります。	50～54歳、男性
	23	選択しやすかったです。	45～49歳、女性
	24	選択肢が多い割には答えやすかった。	60～64歳、女性
	25	質問が分かりやすかったので、スムーズな回答ができました。ありがとうございました。	45～49歳、男性
	26	意見は特でない。こういったタイプの回答は好きだ。	70～74歳、女性
	27	特にはないが、選択肢をわかりやすくしてほしい。	65～69歳、男性
	28	良い。	25～29歳、男性
	29	楽しかったです。	65～69歳、男性
30	好きでない。	60～64歳、男性	
品川区	1	役所の人にもよりけりに対応が全部同じではないのが少しだけ嫌な点です。	45～49歳、女性
	2	コロナが早く収束して頂きたいと思います。	35～39歳、女性
	3	将来のインフラ整備に役立ててほしい。	65～69歳、男性
	4	ICTでは、過去の投資が生きていない、全国統一のシステムの構築が必要。防疫、対応等についても見直し、新体制の構築は必要。	70～74歳、男性
	5	現状の政治体制でのIT化にはあまり期待してない。今の人事では難しいと思う。	25～29歳、男性
	6	オンライン化があまりわからないので、これから必要性を感じて勉強していきたい。	70～74歳、女性
	7	オンライン化はセキュリティが不安。	55～59歳、女性
	8	オンライン決済に移行するのは良いけどインターネットの繋がりが悪い。何よりも通信費を安くしてほしい。	60～64歳、女性
	9	行政もIT化を進めて窓口を少なくしてほしい。	35～39歳、男性
	10	キャッシュで生活がしたいが個人情報漏洩だけが心配。	70～74歳、女性
	11	問題がなければ、簡略化できるものはしていってもらえたら助かります。ですが、導入含めすぐには難しいと思います。	35～39歳、男性
	12	高齢者の意識の変化が必要。	70～74歳、女性
	13	時代性あり。	60～64歳、女性
	14	品川区は住みやすいです。	40～44歳、男性
	15	今住んでいる区はとても気に入っている。	40～44歳、女性
	16	もっとこう言うのをやってほしい。	30～34歳、女性
	17	役に立ちますように。	45～49歳、男性
	18	興味深かった。	45～49歳、男性
	19	質問が分かりやすく良いイメージがある。	35～39歳、男性
	20	自分の住む地域は気に入っている。	60～64歳、女性
	21	設問によっては、自分には不要・無縁な選択肢が多く見受けられた。答えにくかった。	65～69歳、女性
	22	質問の分量も適度で、答えやすかったです。5つまで選ぶ設問で、5つ目の候補が多くて迷いました。	45～49歳、男性
	23	この調査で改めて今の住まいの良さを実感した。	70～74歳、女性

区	番号	回答内容	年齢・性別
品川区	24	ありがとうございました。	45～49歳、男性
	25	コロナに負けない	70～74歳、女性
渋谷区	1	特に調査自体に意見はないが、設問が今後の社会活動に関連するものであることから、是非日本を前進させるために活かして欲しいと思う。	40～44歳、男性
	2	とても有意義で、考えさせられる内容ですね！いろいろ思う所ある時勢ですが、当面リモートワークの充実は避けられない所。誠に感謝致します！	50～54歳、男性
	3	区内でもっと地域を絞ってほしい。	65～69歳、男性
	4	セキュリティには十分注意してサービスをしてほしい。	40～44歳、男性
	5	イエスノーで一概に言い切れない迷った時のコールセンターの充実なしにオンラインで合理化中心に考えて進めればトラブルの基となる。管理の簡素化を目途として考えるべき。	60～64歳、男性
	6	コロナの中、自分は何を欲しているのだろうと考えるきっかけになった。コロナで在宅増加、片付け、不用品廃棄をするようになり、コロナで経済低迷をひしひし感じ、とにかく一市民としては節約を心がけ不要なものを買わない事が大切だと思った。	60～64歳、女性
	7	キャッシュレス還元への延長は無いが復活してほしい。	60～64歳、男性
	8	キャッシュレスを推進して欲しい。	40～44歳、男性
	9	今後は支払方法や各種手続きなどかなり様変わりするものと思って覚悟します。	55～59歳、男性
	10	行政手続きのオンライン化について希望を聞かれるとは思わなかった。オンライン化されることが当然だと思っていたので。	55～59歳、女性
	11	もともと浮かれた生活はしていないので、コロナの前後で変化なし。普通に家で3食食べている。もともと職場には自転車通っていたので、人との接触は少ない。	65～69歳、男性
	12	私のアンケート回答も調査の一助となれば幸いです。	25～29歳、女性
	13	職業の内容によっては全くりモートワークが無理なケースもあるため、その点に配慮した。普段の生活がかなり変化していきそうですのでお役所の窓口は気軽に訪問できると不安が少なくなると思います。	75～79歳、女性
	14	よりよい世の中にしてください。	45～49歳、男性
	15	まだ、コロナは終息していません。気をつけて下さい。	65～69歳、女性
	16	生活向上に役立ててください。	70～74歳、男性
	17	このような質問を通して時代の変化を感じる。	50～54歳、女性
	18	質問が簡潔。	60～64歳、女性
	19	質問が細かくて不快。	60～64歳、男性
	20	質問数多過ぎます。	25～29歳、男性
	21	設問が長い。	35～39歳、男性
	22	子育て世代ではないので、保育や学校教育については疎い為回答し難い質問があった。	65～69歳、女性
	23	コロナで評価が上がった、下がったという質問は答えが難しい。こうだったらいいという感じはあるが、選択で答えるのは選びにくい。	60～64歳、女性
	24	生活環境等意外と答えにくい内容が多かった。	70～74歳、女性
	25	電話対応を全くなくされたら我々高齢者は困る。	65～69歳、女性
	26	オンラインは大変便利ですが、わからないことが有るときの相談窓口の充実を提言して欲しいです。電話は通じないし、チャットも込み入った問題に役に立たないです。	60～64歳、女性
	27	区のイメージだと自分の住まいがある地区と一般的な区のイメージがかなりギャップがあり少々答え辛かった。	30～34歳、女性
	28	答える所要時間の長さが良かった。	75～79歳、女性
	29	長い。	25～29歳、女性
	30	私のライフステージではフィットしない問いが多かった。	70～74歳、男性

区	番号	回答内容	年齢・性別
渋谷区	31	色々と考えさせられた。	45～49歳、女性
	32	自分を見つめ直せた。	60～64歳、男性
	33	改めて自分の住居環境を見直す機会を与えていただいた。	70～74歳、女性
	34	渋谷区が好きです。	20～24歳、男性
	35	実質的にそれほどの変化はない。	70～74歳、女性
	36	今住んでいる所に不満がない。	65～69歳、女性

IV 政策的提言～調査結果から見た港区の政策課題～

ここでは、本調査の結果から、生活の豊かさと定住性の向上に向けた区の政策課題について考察する。また、新型コロナウイルス感染症による生活環境に対する意識の変化や行政サービスへのニーズについて考察する。

(1) 集計結果

ア 婚姻、出生に係る意向

女性が希望する子ども数について、港区は他区と比較して既婚女性は多く、未婚女性は中位に位置する。

既婚女性が希望する子ども数は1,579人で6区の中では最も高い水準にある。一方、未婚女性の結婚希望は低い水準で、結婚を希望する女性の希望する子ども数は中位に位置する。

イ 居住環境への評価

港区は公共交通利便性と治安への満足度、住宅コストと買い物環境への不満度が高い。

港区における居住環境への評価について、満足な点では公共交通の利便性、治安の良さが高く、不満な点では住宅価格・家賃と買い物のしにくさが高くなっている。こうした傾向は都心3区では共通しているが、買い物のしにくさへの不満度が高く、まちのイメージの満足度が比較的高いことが港区固有の特徴として挙げられる。

ウ 買い物環境に関する評価とニーズ

買い物環境への評価は6区中で2番目に低いが、それでもほとんどの区民が区内で日常の買い物をしており、食料品の価格に強い不満を持っている。

買い物環境への総合的な評価について、肯定的評価の合計は千代田区に次いで低い水準である。ただし、それでも93.4%の区民が食料品・日用品は区内で購入している。また、港区では食料品の価格への不満度が最も高く、6区の中でも突出した回答率となっている。なお、嗜好品・耐久消費財は44.2%の区民が区外で購入しており、その割合は6区で2番目に高い。

新たなサービスとして、若い世代を中心に総菜等のテイクアウト・デリバリーへのニーズが大きいが、高齢層は特定品目が充実した販売所、就学前の子どもがいる人はキャッシュレス決済の拡大を求めている。

港区では、買い物利便性向上に有効なサービスとして、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」へのニーズが高く、6区の中でも最も高い割合となっている。また、このサービスへのニーズは年齢が低いほど大きくなっている。なお、こうした傾向は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業に対し感染リスク回避の観点からテイクアウト・デリバリーに需要がシフトしていると推定されることにも留意が必要である。

一方、年齢が高いほど「特定の品目が充実した新たな販売所の設置」へのニーズが大きく、65歳以上では、このサービスへのニーズが最も高くなっている。また、就学前の子どもがいる人では「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」へのニーズが最も高くなっている。

エ 教育・子育て環境への評価とニーズ

教育・子育て環境への評価は6区中で最も高いが、小学生以下の子どもがいる人と比較して中学生の子どもがいる区民の評価は相対的に低い。

教育・子育て環境への総合的な評価について、肯定的評価の合計は6区中で最も高い水準である。特に、小学生以下の子どもがいる人の評価が高い一方、中学生の子どもがいる人の評価が相対的に低い。具体的には保育施設の評価が最も高く、6区の中でも2番目に高い。また、就学前の子どもがいる区民は、保育施設の充実度に対する評価が特に高く、64.1%が魅力的と感じている。

オ 地域イメージ

港区は6区の中で地域イメージの評価が最も高く、景観・街並みへの評価が比較的高い。

港区は地域イメージの評価が6区の中でも最も高い。具体的な点としては、道路や交通の便への評価が最も高いがその回答率は6区の中で低い水準である。一方、景観・街並みのデザインやセンスへの評価が6区の中では最も高くなっている。

カ 転出入意向と地域選定理由

港区はずっと住み続けたいという区民の割合が高いが、若い世代の定住意向は低い。

在住者の居住年数について、港区は10年以上居住している区民の割合が6区の中で中位に位置しているが、ずっと区内に住み続けたいという意向（定住意向）を有する区民の割合は、僅差ではあるが6区で最も高く45.0%を占めている。ただし、若い世代ほど、その割合は低く、34歳以下では24.7%に留まる。

転出希望理由は若い世代を中心に住宅価格・家賃が6区の中で最も高い。

転出を希望する理由は、6区とも「住宅価格・家賃」が最上位となっているが、港区は6区の中で最も高く、より強い要因となっている。また、「住宅価格・家賃」を転出希望の理由とする割合は年齢が低いほど高くなっている。

転出先として港区を想定する人は、まちのイメージや景観・街並みの良さを理由としている割合が高い。

転出先として想定する場所として、6区とも23区外の割合が高い傾向がある。また、他5区が、自区以外の5区の中で最も多く想定している転出先は世田谷区民を除き港区となっており、その理由はまちのイメージ、景観・街並みが多くなっている。

キ 新型コロナウイルス感染症による区民意識、ニーズの変化

①生活環境のうち重要度が上がったもの

港区では買い物のしやすさの重要度が最も高まっており、千代田区を除けば他区も同様の傾向となっている。

港区では、買い物のしやすさの重要度が最も高まっており、2番目に重要度が高まっているとされた治安と比較しても大きな格差がある。他区でも千代田区以外の4区で同様に買い物のしやすさが上位に挙げられている。

②今後の生活の変化

リスクが高い海外・国内旅行が減少し、在宅勤務とそれに関連する行動が増加するとされており、特に若い世代で在宅勤務関連が多くなっている。

リスクの高い行動である海外・国内旅行の減少、在宅勤務の増加とそれに伴う公共交通機関利用の減少、自炊の増加などがあげられており、いずれの区も同様の傾向となっている。

港区において、全体では海外旅行の減少が最も高いのに対し、34歳以下で在宅勤務と自炊が最も多くなっていることが特徴として挙げられる。

③行政サービスのオンライン化、キャッシュレス化

多くの区民が申請、納付、届出のオンライン化を望んでいる一方、情報の安全性に不安を感じている。

港区では、行政サービスのオンライン化について、申請、納付、届出の手続へのニーズが高く、申請は約8割、届出は約7割、給付は約6割となっている。一方、5割の区民が行政のオンライン化に際し情報の安全性に不安を感じている。また、6区のいずれも同様の傾向である。

7割の区民がキャッシュレス決済を必要と感じている。

行政サービスのキャッシュレス決済の必要性について、いずれの区でも「必要」が過半数となっているが、中でも港区はその割合が最も高く、7割に達している。

(2) 調査結果を踏まえ対応を検討すべき政策課題

ア 生活の豊かさと定住性の向上に向けた課題

①買い物利便性向上に向けたサービス強化の検討

区民は、港区の生活環境のうち、公共交通利便性と治安の良さの満足度が高い一方で、住宅コストと買い物利便性への不満度が高い。これらは都心3区共通の特性であるが、買い物利便性への不満度が特に高いことが港区の特徴である。それでいて日常の買い物は区民のほとんどが区内で行っており、食料品の価格への不満度が特に高いことも港区の大きな特徴と言える。

こうした状況を改善する取組としては、若い世代では「総菜等のテイクアウト、デリバリーサービス利用機会の拡大」、65歳以上の高齢者では「特定の品目が充実した新たな販売所の設置」へのニーズが高い。区民の不満度が特に高い問題点である買い物不便を解消し、魅力を向上するため、区内の事業者

との連携・支援により、こうした世代のニーズに対応したサービスを充実することが望まれる。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食へのニーズが店舗利用からテイクアウト・デリバリーにシフトしていると考えられ、後述する新型コロナウイルス感染症による区民ニーズの変化に対応する観点からも、こうした区内事業者によるサービスの充実を促進・支援することが必要と考えられる。

②教育・子育て環境の一層の充実とアピール

港区は、教育・子育て環境への肯定的評価は6区中でも最も高い。また、保育施設に対する評価が高く、小学生及び就学前の子どもがいる区民の評価が特に高い。一方で、港区は既婚女性が希望する子ども数が6区の中でも高水準という特性も有している。

こうした特性を踏まえ、教育・子育て環境の一層の充実を図るとともに、子どもがいる区民や将来子どもを持ちたいと考える夫婦世帯にこうした魅力を周知することで、他世代と比較して定住意向が低い、子どものいる区民及び今後子どもを持つ若い世代の区民の定住性向上につながり、結果的に安定的な出生率水準を維持することもあわせて期待できる。

なお、中学生のいる区民の教育環境への評価が相対的に低い。本調査の結果だけでは、学校教育や青少年育成など、中学生を取り巻くどのような環境がこうした評価の要因となっているかを把握することは困難であるが、今後、こうした要因について把握し、課題に的確に対応し改善することが望まれる。

③洗練された6区イメージと景観・街並みの効果的な活用

港区は、6区中で区民の地域イメージに対する評価が最も高い。また、他5区の転出希望先において港区は世田谷区を除く4区で最上位となっているが、その理由も地域イメージと景観・街並み良さが最も多く挙げられている。

こうした地域イメージや景観・街並みの良さは港区の重要な地域資源であり、これをシティプロモーションに効果的に活用することが必要である。

イ 新型コロナウイルス感染症による区民ニーズの変化への的確な対応

①在宅勤務の増加に伴う買い物やすさの重要度の高まりに対応した対策の強化

新型コロナウイルス感染症により、区民の生活において特に大きく変化した点は在宅勤務の増加であり、それに伴う公共交通の利用減少や自炊の増加である。また、このように自宅で過ごす時間が増加したことにより、買い物のやすさの重要度が上がったと考える区民の割合も高い。

こうした観点からも、前述の通り、港区にとって大きな課題となっている買い物利便性の改善に取り組む必要があり、その解決策として区民のニーズが高い「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」への取組を具体的に検討することが必要である。

②密と接触の回避に向けた行政サービスのオンライン化、キャッシュレス化の推進

国が設置した新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が令和2年5月4日に公表した「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」においても「新生活様式」として人との密と接触を避けることが求められている。

このため行政サービスについても、申請、納付、届出など区民が高い頻度で利用するサービス全般のオンライン化及びキャッシュレス化へのニーズが明確に表れている。もともと、ICTを活用した行政の効率向上と区民サービスの質の向上という観点から推進することが求められてきたこれらの行政サービス改革について、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも、取組を進めることが求められている。また、併せてオンライン化の推進に当たり情報の安全性に対する区民の不安を解消する取組も着実に実

施することが必要である。

V 資料

資料1 設問一覧

事前質問	あなたのお住まいをお知らせください。		1	千代田区	
			2	中央区	
			3	港区	
			4	品川区	
			5	世田谷区	
			6	渋谷区	
問1	あなたの年齢をお知らせください。		1	18歳未満	
			2	18～19歳	
			3	20～24歳	
			4	25～29歳	
			5	30～34歳	
			6	35～39歳	
			7	40～44歳	
			8	45～49歳	
			9	50～54歳	
			10	55～59歳	
			11	60～64歳	
			12	65～69歳	
			13	70～74歳	
			14	75～79歳	
			15	80～84歳	
			16	85～89歳	
			17	90歳以上	
問2	あなたの性別をお知らせください。		1	男性	
			2	女性	
問3	あなたの職業をお知らせください。		1	自営業主・家族従業	
			2	法人の経営者	
			3	会社員・団体職員・公務員	
			4	アルバイト・パートタイマー	
			5	家事専業	
			6	学生	
			7	無職	
			8	その他	
問4 (1) -1	現在の同居家族の人数を教えてください。（いない属性の欄には0を入力してください。）※同性パートナーシップ制度を利用されている方は「その他親族」に含めてご回答ください。		配偶者（人）		
			子ども（人）		
			親（人）		
			その他親族（人）		
問4 (1) -2	それぞれの同居人の年齢をお答えください。該当の同居家族が複数名いらっしゃる場合は年齢の高い方から順に入力ください。		その他同居人（人）		
			配偶者（歳）		
			子ども1～10（歳）		
			親1～4（歳）		
			その他親族1～5（歳）		
問4 (1) -3	それぞれの同居人の性別をお答えください。		その他同居人1～5（歳）		
			配偶者	1	男性
				2	女性
			子ども1～10	1	男性
				2	女性
			親1～4	1	男性
				2	女性

問4 (1) -3 続き	それぞれの同居人の性別をお答えください。	その他親族1～5	1	男性
			2	女性
		その他同居人1～5	1	男性
			2	女性
問4 (2)	あなたの婚姻状況についてお答えください（事実婚含む）。	1	配偶者がいる（同居・別居含め）	
		2	配偶者がいない（未婚・離婚・死別）	
問5 (1)	(女性・既婚者の場合) 夫婦で希望する子どもの数についてお伺いします。今いる子どもと今後欲しい子どもの人数をそれぞれお答えください。	今いる子ども（人）		
		今後欲しい子ども（人）		
問5 (2)	(女性・未婚者の場合) 将来の結婚の希望の有無についてお答えください。	1	ある	
		2	ない	
問5 (3)	(未婚者の方で結婚希望ありと答えた場合) 将来希望する子どもの数をお答えください。(人)			
問6	現在お住まいの場所における居住年数をお答えください。 ※生まれてからずっと今の場所にお住まいの場合は「生まれてからずっと」をご選択ください。	1	1年未満	
		2	1年以上2年未満	
		3	2年以上3年未満	
		4	3年以上4年未満	
		5	4年以上5年未満	
		6	5年以上6年未満	
		7	6年以上7年未満	
		8	7年以上8年未満	
		9	8年以上9年未満	
		10	9年以上10年未満	
		11	10年以上20年未満	
		12	20年以上30年未満	
		13	30年以上	
		14	生まれてからずっと	
問7	現在のお住まいの所有形態をお答えください。	1	持家（一戸建）	
		2	持家（マンション）	
		3	借家（一戸建）	
		4	民間の賃貸マンション・アパート	
		5	都営住宅・区営住宅・区立住宅・特定公共賃貸住宅	
		6	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	
		7	社宅・公務員宿舎	
		8	寮・寄宿舎・住み込み・間借り	
		9	その他	
問8	現在お住まいの区で満足な点をお答えください。（最大5つまで選択可とする）	1	住宅価格・家賃	
		2	公共交通機関の利便性	
		3	道路交通の利便性	
		4	防災面における安全性	
		5	治安	
		6	まちのイメージ	
		7	景観・街並み	
		8	自然の豊かさ	
		9	飲食店の充実度	
		10	買い物のしやすさ	
		11	環境に配慮したまちづくり	
		12	地域コミュニティの活動	
		13	友人・知人・親族が近くにいる	
		14	勤務先との近さ	
		15	通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ）	
		16	子育て支援の充実	
		17	教育環境の充実（幼稚園・小学校）	
		18	教育環境の充実（中学校）	
		19	教育環境の充実（高等学校）	

問8 続き	現在お住まいの区で満足な点をお答えください。 (最大5つまで選択可とする)	20	生涯学習の機会の充実
		21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実
		25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
		28	満足点はない
問9	現在お住まいの区で不満な点をお答えください。 (最大5つまで選択可とする)	1	住宅価格・家賃
		2	公共交通機関の利便性
		3	道路交通の利便性
		4	防災面における安全性
		5	治安
		6	まちのイメージ
		7	景観・街並み
		8	自然の豊かさ
		9	飲食店の充実度
		10	買い物のしにくさ
		11	環境に配慮したまちづくり
		12	地域コミュニティの活動
		13	友人・知人・親族が近くにいない
		14	勤務先との近さ
		15	通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)
		16	子育て支援の充実
		17	教育環境の充実(幼稚園・小学校)
		18	教育環境の充実(中学校)
		19	教育環境の充実(高等学校)
		20	生涯学習の機会の充実
		21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実
		25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
		28	不満点はない
問10 (1)	普段の食料品、日用品(洗剤、衛生用品、台所用品、雑貨等)の買い物の環境に対する評価をお答えください。	1	よい
		2	ややよい
		3	どちらとも言えない
		4	やや悪い
		5	悪い
問10 (2)	食料品、日用品の買い物の環境としてよい点をお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	1	店までの距離
問10 (3)		2	買い物で利用する交通機関(バス等)
		3	店の駐車場の有無・使いやすさ
		4	品揃え
		5	食料品の価格
		6	日用品の価格
		7	品物の鮮度・品質

問10 (2) 問10 (3) 続き	食料品、日用品の買い物の環境としてよい点をお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	8	レジ・会計にかかる時間
		9	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応
		10	営業時間の長さ
		11	店の雰囲気
		12	店員の対応・態度
		13	その他
		14	よい点はない
問10 (4) 問10 (5)	食料品、日用品の買い物の環境として悪い点をお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	1	店までの距離
		2	買い物で利用する交通機関（バス等）
		3	店の駐車場の有無・使いやすさ
		4	品揃え
		5	食料品の価格
		6	日用品の価格
		7	品物の鮮度・品質
		8	レジ・会計にかかる時間
		9	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応
		10	営業時間の長さ
		11	店の雰囲気
		12	店員の対応・態度
		13	その他
		14	悪い点はない
問11	食料品、日用品の買い物で最もよく利用するお店までの徒歩での片道の所要時間をお答えください。	1	5分未満
		2	5分以上 10分未満
		3	10分以上 15分未満
		4	15分以上 20分未満
		5	20分以上 30分未満
		6	30分以上
		7	徒歩で行ける範囲にはない
問12 (1)	食料品、日用品の買い物で最もよく利用するお店の所在地をお答えください。	1	千代田区
		2	中央区
		3	港区
		4	新宿区
		5	文京区
		6	台東区
		7	墨田区
		8	江東区
		9	品川区
		10	目黒区
		11	大田区
		12	世田谷区
		13	渋谷区
		14	中野区
		15	杉並区
		16	豊島区
		17	北区
		18	荒川区
		19	板橋区
		20	練馬区
		21	足立区
		22	葛飾区
		23	江戸川区

問12 (1) 続き	食料品、日用品の買い物で最もよく利用するお店の所在地をお答えください。	24	23区以外の都内
		25	千葉県
		26	埼玉県
		27	神奈川県
		28	その他
		29	わからない
問12 (2)	趣味のものや耐久消費財（家具、家電等）の買い物で最もよく利用するお店の所在地をお答えください。	1	千代田区
		2	中央区
		3	港区
		4	新宿区
		5	文京区
		6	台東区
		7	墨田区
		8	江東区
		9	品川区
		10	目黒区
		11	大田区
		12	世田谷区
		13	渋谷区
		14	中野区
		15	杉並区
		16	豊島区
		17	北区
		18	荒川区
		19	板橋区
		20	練馬区
		21	足立区
		22	葛飾区
		23	江戸川区
		24	23区以外の都内
		25	千葉県
		26	埼玉県
		27	神奈川県
		28	その他
		29	わからない
問13	普段の買い物の利便性を向上させるサービスとして有効であると感じるものをお答えください。	1	総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大
		2	日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大
		3	キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大
		4	特定の品目が充実した新たな販売所の設置（鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など）
		5	わからない
		6	その他
問14 (1)	あなたがお住まいの区における教育・子育て環境に関する評価をお答えください。	1	よい
		2	ややよい
		3	どちらとも言えない
		4	やや悪い
		5	悪い
問14 (2) 問14 (3)	子育てや教育について、現在、お住まいの区において魅力を感じる要素をお答えください。 また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	1	保育施設（保育園等）が整備され充実している
2		待機児童が少ない	

問14 (2) 問14 (3) 続き	子育てや教育について、現在、お住まいの区において魅力を感じる要素をお答えください。 また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	3	ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）が充実している		
		4	児童虐待対策が整っている		
		5	障害のある子どもの生活支援体制が充実している		
		6	子育ての悩みに対する相談体制が充実している		
		7	子育て情報の提供が充実している		
		8	仕事と子育てを両立させるための支援が充実している		
		9	地域の子育てネットワークが構築されている		
		10	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている		
		11	特別支援教育が充実している（体制が整っている）		
		12	ICTを活用した教育が推進されている		
		13	外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している		
		14	青少年健全育成が充実している		
		15	わからない		
		16	その他		
		17	魅力を感じる要素はない		
		問15 (1)	あなたがお住まいの区における地域イメージに関する評価をお答えください。	1	よい
				2	ややよい
3	どちらとも言えない				
4	やや悪い				
5	悪い				
問15 (2) 問15 (3)	地域イメージとして魅力を感じる要素をお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	1	景観・街並みのデザインやセンスがよい		
		2	道路や交通の便がよい		
		3	生活に便利である		
		4	魅力的な商店街や店舗がある		
		5	地場産業が盛んである		
		6	防災面における安全性が高い		
		7	治安がよい		
		8	環境に配慮されている		
		9	自然が豊かである		
		10	公園が充実している		
		11	医療機関が充実している		
		12	高齢者・障害者向けの福祉環境が充実している		
		13	子育て環境が整備されている		
		14	生涯学習の機会が充実している		
		15	スポーツが盛んである		
		16	国際性が豊かである		
		17	歴史的・文化的である		
		18	IT・先端技術が普及している		
		19	地域コミュニティの活動が盛んである		
		20	人がやさしく、おもてなしがよい		
		21	わからない		
		22	その他		
		23	魅力を感じる要素はない		

問16	将来の引越し予定についてお答えください。	1	ずっと【事前質問回答内容】区内に住み続けたい
		2	当分は【事前質問回答内容】区内に住んでいた
		3	しばらくは【事前質問回答内容】区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい
		4	近いうちに【事前質問回答内容】区外に転出したいが、具体的な計画はない
		5	近いうちに【事前質問回答内容】区外に転出する予定である
		6	わからない
問17	(問16で3又は4又は5と回答した場合) 転出を予定する理由(現在お住まいの区における不満)として当てはまるものをお答えください。(最大5つまで選択可とする)	1	住宅価格・家賃
		2	公共交通機関の利便性
		3	道路交通の利便性
		4	防災面における安全性
		5	治安
		6	まちのイメージ
		7	景観・街並み
		8	自然の豊かさ
		9	飲食店の充実度
		10	買い物のしにくさ
		11	環境に配慮したまちづくり
		12	地域コミュニティの活動
		13	友人・知人・親族が近くにいない
		14	勤務先との近さ
		15	通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)
		16	子育て支援の充実
		17	教育環境の充実(幼稚園・小学校)
		18	教育環境の充実(中学校)
		19	教育環境の充実(高等学校)
		20	生涯学習の機会の充実
		21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実
		25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
問18 問19	(問16で3又は4又は5と回答した場合) 予定する転出のきっかけとしてご自身やご家族の状況にあてはまるものをお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	1	就職
		2	転勤
		3	転職
		4	退職
		5	進学・卒業
		6	住宅の購入
		7	広い家への住み替え
		8	建て替え・改築
		9	結婚
		10	離婚
		11	同居・同棲
		12	出産

問18 問19 続き	(問 16 で 3 又は 4 又は 5 と回答した場合) 予定する転出のきっかけとしてご自身やご家族の状況にあてはまるものをお答えください。また、上記のうち、最もあてはまるものをお答えください。	13	家族や親族から独立するため
		14	親や親族の介護
		15	防災上の理由
		16	住まいの賃貸契約の更新が近かった
		17	家計状況の好転
		18	家計状況の悪化
		19	通院
		20	健康上の理由
		21	特に理由はない
		22	その他
		問20	(問 16 で 3 又は 4 又は 5 と回答した場合) 転出先として考えている場所をお答えください。
2	中央区		
3	港区		
4	新宿区		
5	文京区		
6	台東区		
7	墨田区		
8	江東区		
9	品川区		
10	目黒区		
11	大田区		
12	世田谷区		
13	渋谷区		
14	中野区		
15	杉並区		
16	豊島区		
17	北区		
18	荒川区		
19	板橋区		
20	練馬区		
21	足立区		
22	葛飾区		
23	江戸川区		
24	23 区以外の都内		
25	北海道		
26	青森県		
27	岩手県		
28	宮城県		
29	秋田県		
30	山形県		
31	福島県		
32	茨城県		
33	栃木県		
34	群馬県		
35	埼玉県		
36	千葉県		
37	神奈川県		
38	新潟県		
39	富山県		
40	石川県		
41	福井県		
42	山梨県		
43	長野県		
44	岐阜県		

問20 続き	(問 16 で 3 又は 4 又は 5 と回答した場合) 転出先として考えている場所をお答えください。	45	静岡県
		46	愛知県
		47	三重県
		48	滋賀県
		49	京都府
		50	大阪府
		51	兵庫県
		52	奈良県
		53	和歌山県
		54	鳥取県
		55	島根県
		56	岡山県
		57	広島県
		58	山口県
		59	徳島県
		60	香川県
		61	愛媛県
		62	高知県
		63	福岡県
		64	佐賀県
		65	長崎県
		66	熊本県
		67	大分県
		68	宮崎県
69	鹿児島県		
70	沖縄県		
71	海外		
72	分からない		
問21	(問 16 で 3 又は 4 又は 5 と回答した場合) 転出先として【問 20 回答内容】を選んだ理由をお答えください。(最大5つまで選択可とする)	1	住宅価格・家賃
		2	公共交通機関の利便性
		3	道路交通の利便性
		4	防災面における安全性
		5	治安
		6	まちのイメージ
		7	景観・街並み
		8	自然の豊かさ
		9	飲食店の充実度
		10	買い物のしやすさ
		11	環境に配慮したまちづくり
		12	地域コミュニティの活動
		13	友人・知人・親族が近くにいる
		14	勤務先との近さ
		15	通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)
		16	子育て支援の充実
		17	教育環境の充実(幼稚園・小学校)
		18	教育環境の充実(中学校)
		19	教育環境の充実(高等学校)
		20	生涯学習の機会の充実
		21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実

問21	(問 16 で 3 又は 4 又は 5 と回答した場合) 転出先として【問 20 回答内容】を選んだ理由をお答えください。(最大5つまで選択可とする)	25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
問22	(問 16 で 1 又は 2 と回答した場合) 現在お住まいの区に住み続ける理由としてあてはまるものをお答えください。(最大5つまで選択可とする)	1	住宅価格・家賃
		2	公共交通機関の利便性
		3	道路交通の利便性
		4	防災面における安全性
		5	治安
		6	まちのイメージ
		7	景観・街並み
		8	自然の豊かさ
		9	飲食店の充実度
		10	買い物のしやすさ
		11	環境に配慮したまちづくり
		12	地域コミュニティの活動
		13	友人・知人・親族が近くにいる
		14	勤務先との近さ
		15	通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)
		16	子育て支援の充実
		17	教育環境の充実(幼稚園・小学校)
		18	教育環境の充実(中学校)
		19	教育環境の充実(高等学校)
		20	生涯学習の機会の充実
		21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実
		25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
問23、24	新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や人との接触を避ける新しい生活様式が提唱されています。こうした状況を踏まえて新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比較して、住む場所を選ぶときに重要度が上がったものと下がったものをお答えください。	1	住宅価格・家賃
		2	公共交通機関の利便性
		3	道路交通の利便性
		4	防災面における安全性
		5	治安
		6	まちのイメージ
		7	景観・街並み
		8	自然の豊かさ
		9	飲食店の充実度
		10	買い物のしやすさ
		11	環境に配慮したまちづくり
		12	地域コミュニティの活動
		13	友人・知人・親族が近くにいる
		14	勤務先との近さ
		15	通信環境の良さ(インターネットへのつながりやすさ)
		16	子育て支援の充実
		17	教育環境の充実(幼稚園・小学校)
		18	教育環境の充実(中学校)
		19	教育環境の充実(高等学校)
		20	生涯学習の機会の充実

問23、24 続き	新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や人との接触を避ける新しい生活様式が提唱されています。こうした状況を踏まえて新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比較して、住む場所を選ぶときに重要度が上がったものと下がったものをお答えください。	21	公園の充実
		22	スポーツ施設の充実
		23	博物館・美術館など文化施設の充実
		24	医療機関の充実
		25	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
		26	国際性の豊かさ
		27	その他
		28	該当するものはない
問25	新型コロナウイルス感染症流行の経験を経た今後のご自身の生活の変化で予想されるものをお答えください。	1	都心部から離れた住宅への引越し
		2	親や親せきの住まいと近距離の住宅への引越し
		3	日用品の買い物に便利な住宅への引越し
		4	自宅への仕事部屋の設置
		5	公共交通機関利用機会の減少
		6	在宅勤務の増加
		7	サテライトオフィス（勤務先以外のオフィススペース）利用の増加
		8	時間に縛られない勤務
		9	勤務先のペーパーレス化
		10	自炊の増加
		11	海外旅行を控える
		12	国内旅行を控える
		13	わからない
		14	その他
問26	申請、届出、相談など行政の手続について、オンライン化を望むものをお答えください。	1	申請（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等）
		2	届出（住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等）
		3	納付（施設利用料金・住民税（特別区民税・都民税）等）
		4	手続に係る相談（福祉・高齢者・障害者・区税、国民年金等）
		5	生活に係る相談（法律・子育て・教育等）
		6	各種手続のオンライン化は必要ない
		7	その他
問27	（問26で6と回答した場合）行政手続のオンライン対応が必要ないと回答した理由をお答えください。	1	窓口（実際に対面で）手続ができる方がよい
		2	郵送で手続ができればよい
		3	電話で用件が済む
		4	パソコンやスマートフォンの操作が面倒
		5	情報の安全性が確保できない
		6	わからないことをその場で質問できない
		7	その他

問28	これから行政手続のオンライン化が進む中で、課題に思うことや不安に感じるがあれば教えてください。	1	機器（PCやスマートフォン）の操作
		2	機器（PCやスマートフォン）の性能
		3	自宅の通信環境
		4	費用負担の増加（機器、通信料等）
		5	情報の安全性（情報の漏洩やアカウントの乗っ取りなど）
		6	わからないことをその場で質問できない
		7	不安はない
		8	その他
問29	窓口やオンラインでの手続に係るキャッシュレス決済の必要性についてお答えください。	1	必要
		2	どちらとも言えない
		3	不要
問30	（問29で1と回答した場合）普段の生活において利用している支払方法をお答えください。	1	PayPay
		2	楽天ペイ
		3	LINE Pay
		4	メルペイ
		5	d払い
		6	au PAY
		7	J-Coin Pay
		8	ペイジー（インターネットバンキング・ATM）
		9	クレジットカード
		10	デビットカード
		11	交通系電子マネー（Suica、PASMOなど9種類）
		12	nanaco
		13	WAON
		14	楽天 Edy
		15	iD
		16	QUICPay
		17	特にない
		18	その他
問31	最後に本調査に関連して何かご意見等ございましたらご自由にお書きください。		

1 設置目的

港区政策創造研究所は、各部門の個別情報の収集・分析等を踏まえ、横断的に課題を捉え、総合的な政策研究を行い、各支援部・総合支所を支援することを目的とします。

2 設置日等

(1) 設置日

平成23年2月1日

(2) 設置場所

港区役所（本庁舎）4階

(3) 所長

大塚 敬（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業本部自治体経営改革室長）（平成31年4月1日着任）

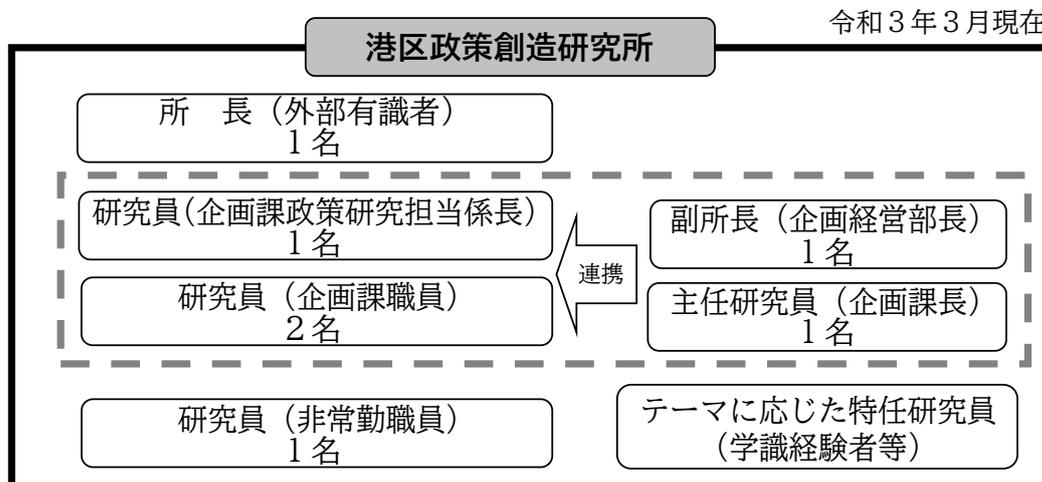
3 機能

研究所は、次の4つの機能を備えます。

機能	狙い
情報活用機能	区内で何が起きているのかを的確に把握
分析・予測機能	それが区民の生活に与える影響を予測
政策研究・形成機能	顕在化する課題を先取りし、迅速に対応
人材育成機能	流動的な時代に対応できる人材育成への貢献

4 体制

所長1名、副所長1名、研究員5名の合計7名で構成し、活動を行っています。



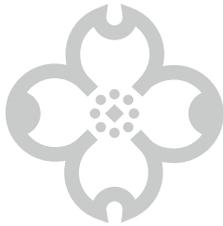
人口変動要因等に関するアンケート調査報告書
関係者名簿・報告書執筆分担

【港区政策創造研究所】

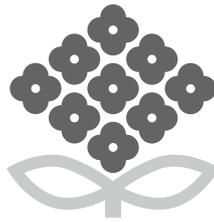
- | | |
|-------|---|
| 大塚 敬 | 港区政策創造研究所所長
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
自治体経営改革室長)
[調査統括] |
| 大澤 鉄也 | 港区政策創造研究所副所長
(港区企画経営部長) |
| 大浦 昇 | 港区政策創造研究所主任研究員
(港区企画経営部企画課長) |
| 渡邊 貴之 | 港区政策創造研究所研究員
(港区企画経営部企画課政策研究担当係長) |
| 大塚 真澄 | 港区政策創造研究所研究員
(港区企画経営部企画課政策研究担当) |
| 高井 勉 | 港区政策創造研究所研究員 |

港区「区の木・区の花」

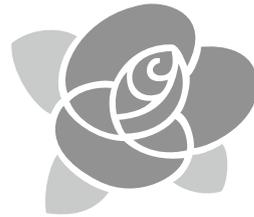
区の木 ハナミズキ



区の花 アジサイ



区の花 バラ



刊行物発行番号 2020187-5811

人口変動要因等に関するアンケート調査報告書

令和3年(2021年)3月発行

発行 港区政策創造研究所(港区企画経営部企画課)

〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25

電話 03-3578-2111(代表)